

第七十三回帝國議會  
衆議院

# 國家總動員法案委員會會議錄(速記)第三回

付託議案  
國家總動員法案(政府提出)

## 會議

昭和十三年三月一日(火曜日)午前十時五十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 小川郷太郎君

理事中村不二男君 理事豊田 豊吉君

理事中山 福藏君 理事西岡竹次郎君

理事宮脇 長吉君 理事篠原 義政君

理事井阪 豊光君 理事西尾 末廣君

作田高太郎君 齋藤 隆夫君

櫻井兵五郎君 古屋 慶隆君

増田 義一君 山本 厚三君

林 平馬君 眞鍋 儀十君

眞鍋 勝君 池田 秀雄君

小山 谷藏君 川崎末五郎君

長井 源君 河野 一郎君

小高長三郎君 羽田武嗣郎君

濱田 國松君 板野 友造君

河上 哲太君 植原悦二郎君

猪野毛利榮君 若宮 貞夫君

岩元榮次郎君 藤本 拾助君

山崎 常吉君 清瀬 一郎君

守屋 榮夫君 三輪 壽壯君

淺沼稻次郎君 今井 新造君

三田村武夫君

二月二十八日委員山道襄一君辭任ニ付其ノ

補闕トシテ作田高太郎君ヲ議長ニ於テ選定

セリ

出席國務大臣左ノ如シ

外務大臣 廣田 弘毅君

海軍大臣 米内 光政君

司法大臣 鹽野 季彦君

陸軍大臣 杉山 元君

鐵道大臣 中島知久平君

內務大臣 末次 信正君

出席政府委員左ノ如シ

內閣書記官長 風見 章君

法制局長官 船田 中君

企畫院總裁 瀧 正雄君

企畫院次長 青木 一男君

企畫院部長 植村甲午郎君

企畫院部長 横山 勇君

企畫院書記官 内田源兵衛君

內務政務次官 勝田 永吉君

陸軍政務次官 加藤久米四郎君

陸軍參與官 比佐 昌平君

陸軍中將 山脇 正隆君

陸軍少將 町尻 量基君

陸軍主計少將 石川半三郎君

陸軍輜重兵大佐 柴山兼四郎君

陸軍主計大佐 栗橋 保正君

海軍參與官 岸田 正記君

海軍主計中將 村上 春一君

海軍少將 井上 成美君

海軍主計大佐 山本丑之助君

司法參與官 藤田 若水君

司法省刑事局長 松阪 廣政君

文部政務次官 内ヶ崎作三郎君

逓信政務次官 田島勝太郎君

鐵道政務次官 田尻 生五君

厚生政務次官 工藤 鐵男君

厚生次官 廣瀨 久忠君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

國家總動員法案(政府提出)

○小川委員長 是ヨリ開會致シマス、本案

ニ對スル質疑ハ、通告順ニ依ッテ之ヲ許シマ

ス——櫻井兵五郎君

○櫻井委員 本案ハ申上ゲル迄モナク洵ニ

重大ナ法案デアリマシテ、我が憲法創始以

來會テ斯ノ如キ事例ヲ見ナカッタ内容ヲ含

ンデ居ル所ノ重大ナ法案ト思フノデアリマ

ス、隨テ此法案ニ對シマシテハ、ドウシテ

モ總理大臣ノ信念ヲ伺フコトガ必要ニ感ゼ

ラレル、併シ總理大臣ハ御病氣ヲ御靜養ニ

ナッテ居ルト云フコトハ洵ニ致シ方ガナイ、

ソレ故ニ私ハ問題ノ順序カラ考ヘマスト洵

ニ遺憾ニハ感ジマスルケレドモ、已ムヲ得マ

セヌカラ、總理大臣ニ對スル質問ダケハ全

部茲ニ留保致シマシテ、其他ノ問題ニ付テ

質問ヲ進メテ行キタイト考ヘルノデアリマ

ス

緒テ此法案ヲ熟檢討致シマスルト、此法

案ノ目的ソレ自體ノ可否ト云フヨリハ、問

題ノ重點ガ其外ニ懸ッテ居ルト私ハ考ヘル、

ドウ云フ點ニ懸ッテ居ルカト申シマス、一

ツハ此法案ノ形ノ上ニ懸ッテ居ル、今一ツ

ハ此形ノ裏ニ潛ム意味ト意圖ガ何デアルカ、

此二點ガ私ハ重大ナ點トシテ考ヘラレルコ

トト思フノデアリマス、本來此法案ノ目的

トスル點ノミヨリ言ヘバ、何モ此法案ガ左

程ニ國民ニ衝動ヲ與ヘル性質ノモノデハナ

イト思フ、ソレガ如何ニモ重大ナル案トシ

テ國民ニ一種ノ衝動ト云フカ、否、寧ロ恐怖

スラモ與ヘテ居ルデハナイカト思ハレル、

此二ツノ點ヲ明ニスルコトガ私ハ先決問題

デアルト思ヒマス、ソレ故ニ政府モ其心持  
デ、能ク懇切ナル御答辯ヲ願ヒタイ、吾々  
ト茲ニ言論ノ上ノ是非ヲ争フト云フヨリ  
ハ、國民ヲシテ眞ニ之ヲ納得セシメル、欣

シテ居リマシテモ、次ニ來ル内閣、其次々々、  
何時如何ナル時ニ如何ナル内閣ガ出來テ、  
此白紙委任狀ノ内容ヲ如何ニ書カレルカ  
ト云フコトハ、豫知スルコトノ出來ナイ

先例ハ何處ニアルカ、先ヅ其點ヲ懇切ニ私  
共ノ納得ノ行クヤウニ、是等ノ點ガ全ク之  
ニ該當スル先例ダト云フコトヲ、御示シラ  
願ヒタイ

セデアリマスガ、是ハ既ニ種々ナル立法ガ  
アリマシテ、先ヅ軍需工業動員法ニ於キマ  
シテモ、本法ト同ジヤウナ書キ方ノモノモ  
アリマス、本法ニ依リマシテハ唯第四條カ  
ラ第二十條ニ至ル條文ガ、何レモ肩ヲ竝ベテ

然トシテ國民ハ此案ノ趣旨ニ從ッテ協力シ

問題デアル、現在ヨリ將來ニ互ル重大ナル

○鹽野國務大臣 御尋ニ御答ヲ致シマス、

「戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ

テ來ル、此點ヲ政府ハ眼目トシテ、此法案

問題ニ付キマシテハ、此點モ私共ハ深く考

此法案ガ大キナ白紙委任狀ヲ渡セト云フモ

勅令ノ定ムル所ニ依リ」ト、同ジ文言ガ各條

ヲ決定スルニ非ラザレバ、政府ノ目的トス

慮シナケレバナラナイ、斯ウ考ヘルノデア

ノ自由、財産ヲ束縛スベキ程度ハ、本案ノ

ズット竝ンデ居リマスカラ、如何ニモ廣イヤ

ル所ノ大眼目ガ逸セラレルヤウナ虞ガ十分

リマス、而シテ案ノ實體ハドウカト云フト、

各條ニ於テ明ニ示シテ居ルノデアリマス、

ウニ見エルノデアリマスケレドモ、其命令

ニアルト考ヘル、第一ニ形ノ點カラ申シマ

マルデ雲ヲ掴ムモ同様何モ分ラナイ、唯内

即チ工場其他ノ設備ニ付テ管理、收用、使

ノ範圍ト云フモノハ、寧ロ各本條ノ義務ヲ

スルト、此法案ハ五十條アリマスガ、其中

容ヲ備ヘテ光ッテ居ルモノハ罰則バカリ、五

用ヲスル、或ハ輸出ヲ制限禁止スル、サウ

狹メル所ノ命令デアリマシテ、國民ガ心配

ノ三十條バカリガ此案ノ實體ヲ成スモノデ、

十條ノ中ニ二十條バカリガ罰則デ、而モ曾

云フ國民ニ義務ヲ負ハセル本體ハ本條ニ明

スルニハ當ラヌ程度ノモノト考ヘテ居リマ

アト二十條足ラズガ罰則デアリマス、此案

テ吾々ハ見タコトノナイ嚴罰デアル、此點ハ

確ニ出テ居ルノデアリマス、然ルニ其制限

ス

ノ實體ヲ成ス所ノ三十條バカリノモノハ何

私ハ後ニ内容ヲ論ジマスガ、實體ハ分ラナ

禁止若クハ收用、使用ト云フヤウナ義務ヲ

○櫻井委員 其例トシテ軍需工業動員法、

デアルカト言ヘバ、條文其モノニ付テ見レ

イ、分ルモノハ唯罰則デアル、目ヲ怒ラシ、

實施スルニ付テノ手段方法等ハ之ヲ勅令ニ

或ハ臨時非常立法ノ例ヲ取ラレマシタガ、

バ、雲ヲ掴ムヤウナモノデアル、何事モ分

齒ヲ剃キ、而シテ劍ヲ持シテ居ル所ノ罰則

讓ル、斯ウ云フノデアリマシテ、其勅令ハ

軍需工業動員法ハ其内容ヲ示シテ居ル、資

ラナイ、デアリマスカラ一口ニ言ヘバ此案

ダケガ光ッテ見エテ居ル、ソレモ煎ジ詰メ

各本條ノ範圍内ニ於テ、寧ロ之ヲ制限スル

金調整法ニ至リマシテモ其通りデアル、所

ノ實體ハ何デアルカ吾々ニハ分ラナイ、斯

テ行ケバ、結局道理アルコトカモ知レヌガ、

爲ニ勅令ニ依ルト云フコトニナッテ居ル、勅

持ッテ來テ、サウシテ一方デハ軍需工業動員

ウ云フコトニ歸結シテシマフ、ソレ故ニ此

兎モ角洵ニ形ガ惡イ爲ニ、サウ云フ惡イ點ノ

令ニ於キマシテ或ハ物ニ付テハ種類トカ數

法ヲ廢スル、ソレガ例ニナルデアリマセウ

案ハ全クノ白紙委任狀デアル、吾々議會ガ

ミガ目ニ著クヤウニナッテ居ルト思ヒマス

量、或ハ時間トカ場所トカ、人ニ付テハ年

カ、箇條ニ入ッテ細カイ議論ヲ致ス場合モア

白紙委任狀ニ言判ヲ捺シテ政府ニ捧ゲル、

ソコデ此白紙委任狀ノ問題デアリマスガ、

齡トカ技能ト云フヤウナ標準ガ出マシテ、サ

ルノデ、ソレハ順序上避ケタイト思ヒマス

サウシテ其内容ハ政府デ決メテ行カレル、

法律ニ根據ヲ作ルノデアルカラ差支ハナ

イデハナイカ、内容ヲ勅令デ政府ニ委セル

ガ、例ヘバ此案ニ明示シテアルト斯ウ言ハ

其内容ヲ政府デ決メテ行カレルノモ政府ト

ト云フコトハ例ノアルコトダ、是ガ鹽野國

務大臣ノ答辯デアル、先例一點張りノ答辯

レル、一ツノ例ダケヲ取ッテ私ハ申上ゲマス、

シテハ宜イデアリマセウ、私共モ此内閣ニ

務大臣ノ答辯デアル、先例一點張りノ答辯

委任狀ヲ出セト云フヤウナモノデハナイノ

是ハ臣民ヲ徵用スルト云フダケデ、内容ハ

協力シテ國難ノ打開ニ當ッテ居ル即チ此内

閣ハ相當信用ヲ致シテ居リマス、併ナガラ

デアリマス、其本條ノヤウナ例ヲ示セト仰

是ハ臣民ヲ徵用スルト云フダケデ、内容ハ

少シモ分ヲナイノデアリマス、私共ハ何ニ依ツテ之ヲ知ルコトガ出來ルデアリマセウカ、外國ノ立法例ヲ見マヌナラバ、「チエッコスロバキヤ」ナドハ、此點ニ關シマシテ、健カハツ位ノ場合ノ内容ヲ揭ゲテ、或ハ精神病者デアルトカ、或ハ十七歳未滿ノ者、六十歳以上ノモノ、或ハ帝國議會ノ議員、サウ云フヤウナ者ハ徵用シナイト云フ内容ヲ示シテアル、然ルニ是ハ唯單ニ帝國臣民ヲ徵用スルト云フ法令ダケデアアル、或ル人ハ斯様ニ言ツテ居ル、政府ハ議會ガ不便ダト思ヘバ、議員悉クヲ徵用スレバ議會ハ完全ニ消滅シテシマフ、ドウモ立看板マデハ宜イカモ知レマセヌガ、彼ハ總動員法ニ反對シテ居ルカラ先以テ之ヲ徵用シヨウト思ヘバ、片端カラ帝國議會ノ議員ヲ徵用スル、アレハ丈ガ高イカラ警視廳ノ門衛ニスル、アレハドウモ氣ニ喰ハヌカラ何處カノ溝浚ヒニスルトカ言ハレ、バ、ソレモ出來ナイコトハナイ、恐ラクハ現政府ハソシナ意圖ハアリマスマイ、アリマスマイガ、此案ノ期限ノナイ恆久法デアルカラ、將來何時如何ナル場合ト云フコトヲ吾々ハ考ヘテ置カナケレバナラヌ、世界ノ思想ハ色々ニ渦巻イテ進ンデ居ルノデアルカラ、將來ノコトヲ吾々ハ深く考慮シナケレバナラヌト云フ立場

カラ、之ニ不安ヲ懷クナト言ハレルノハ、言ハレル方ガ無理デアアル、ソレカラ今一ツ先例トシテ軍需工業動員法、非常立法ノ例、或ハ律令ヲ言ハレルカモ知レマセヌガ、アレハ例外中ノ例外ト考ヘテ居リマス、ソレ等ノモノヲ言ハレマシテモ、軍需工業動員法ハ軍需工業ニ限ラレタモノデハアリマセヌカ、臨時非常立法ハ期限附デアリマセウ、是ハ恆久法ナノデアリマス、而シテ此内容ハ勅令ヲ一體ドノ位御作りニナル積リデアルカ、三十ニナルカ四十ニナルカ、私ハ少カラヌ勅令デアルト思フ、悉ク其實體内容ト云フモノヲ、白紙委任スルト云フコトハ間違ヒノナイコトデアアル、憲法第三十一條ノ本案ニ關スル點ハ姑ク別ト致シマシテモ、是ダケノ空前ナ大委任ガ憲法ノ大精神ニ背クモノデアルト云フコトダケハ、斷ジテ疑ヲ容ル、餘地ハアリマセヌ、伊藤公ガ、アノ政府ノ責任ヲ以テ出ス緊急勅令、而シテ後ニ議會ノ承認ヲ經ルコトヲ條件トスル緊急勅令ニ對シテスラモ、憲法義解ニ於テ何ト申シテ居ラレルカ、「此ノ特權ニ託シ容易ニ議會ノ公議ヲ回避スルノ方便トシテ又以テ容易ニ既定ノ法律ヲ破壊スルニ至ルコトアラハ憲法ノ條規ハ亦空文ニ歸シ一モ臣民ノ爲ニ保障ヲ爲スコト能ハサラムト

ス、故ニ本條ハ又議會ヲ以テ此ノ特權ノ監督者タラシメ緊急命令ヲ事後ニ檢査シテ之ヲ承諾セシムヘキコトヲ定メタリ」斯様ナ解釋ヲ附ケテ居ラレル、事後承諾ヲ條件トスル緊急勅令ニ於テスラ、尙ホ斯ノ如シデアリマス、何等ノ期限ヲ有シナイ所ノ此恆久法ニ對シテ、斯ノ如キ簡單ナル條文ヲ連ネテ、其悉クノ内容ヲ極言スレバ、憲法第二章ニ保障セラレタル所ノ——此第二章ガ殆ド全滅スルカノ如キ感ヲ與ヘル所ノ此法案實體ヲ、之ヲ白紙委任狀ニアラズト斷ゼラレルノハ何事デアルカ、吾々國民ハ承服スルコトハ斷ジテ出來ナイ、此點ヲ理解出來ルヤウニ、懇切ニ説明セラル、義務ガアル、併ナガラ若シ已ムベカラザルコトガ他ニアレバ、其理由ヲ御述べニナルガ宜シイ、是ハ戰時體制ヲ作ルノデアアル、戰時體制ニ限ルモノデアアル、故ニ茲ニモ斯ウ云フ事情ト理由ガアルト言ハレルナラバ、其一部ノ理由ガ、或ハ政府ノ考ヘラレル所ガ認メラレルカモ知レナイガ、ソレナラバ其コトヲ憲法ノ精神ニ副フ所ノモノニシナケレバナラヌ、此案ノ出シ方ガ何何ニモ不用意デアルカラ、是ハ此儘デハイカント云フコトモ亦諸公ハ之ヲ承認セラレナケレバナラヌ、ドウデアリマスカ、モウ少シ懇切ナル御答辯ヲ願ヒタ

イ、前ノヤウニ單ニ一箇所カ二箇所ノ何カヲ擧ゲテ、是デ差支ナイト云フ御答辯デハ私共承服出來マセヌ

○鹽野國務大臣 洵ニ各本條ハ臣民ニ對シテ大キナ義務ヲ負ハセテ居リマス、併ナガラ各條ノ初メニ「戰時ニ際シ」ト云フコトガ皆謳ッテアルノデアリマシテ、此戰時ニ際シト云フ所ニ重點ヲ置カレテ考ヘタラ、御理解ガ行カウト考ヘルノデアリマス、平常ノ狀態ニ於キマシテ、國民ニ對シテ斯様ナ重キ義務ヲ負ハセルト云フコトハ如何カモ知レマセヌ、併ナガラ戰時ニ對スル場合ヲ今規定致シテ居ルノデアリマシテ、戰時ト申シマスレバ、申上ゲル迄モナク近代戰ニ於キマシテハ、全國力ヲ擧ゲテ戰ハナケレバナラナイノデアリマス、隨テ兵力ノ充實ノミナラズ、各種國力ノ總動員ヲ致シテ參ルト云フ所ガ此趣意ナノデゴザイマスルカラ、戰時ノ際ノ規定ヲ茲ニ論ズル場合ニハ、戰爭ト云フコトヲ先ヅ頭ノ中ニ能ク入レテ置イテ、サウシテ考ヘテ見ルコトガ必要ト存ズルノデアリマス、只今御示ニナツタ第四條ノ帝國臣民ヲ徵用シテ總動員業務ニ從事セシムルト云フコトモ、此方法手段ニ於テ勅令ニ之ヲ定メテ置ク、臣民ノ年齡トカ、或ハ業務トカ云フコトニ付テ

ハ、勅令ニ細カニ書イテ之ヲ制限スル、勿論必要ノ限度ニ止ムベキコトハ言フ迄モナイコトゴザイマス、此事ハ既ニ軍需工業動員法ノ第九條「政府ハ戰時ニ際シ勅令ノ定ムル所ニ依リ兵役ニ在ラサル者ヲ徵用シテ前條ニ掲クル業務ニ従事セシムルコトヲ得」ト云フノト同ジヤウナ規定モゴザイマス、尤モ軍需工業動員法ハ、軍需ニ關スル充足ヲ目的トシテ立案サレテ居リマスルガ、近代戰ノ準備ヲ爲スベキ國家總動員ニ付キマシテハ、單ニ軍需ニ關スル事項バカリデナク、民需ニ關スルコトモ調整スル必要ガアリマス、一般經濟ノ圓滑ナル運用ヲ期スル方面ニ於テモ考ヘル必要ガアリ、隨テ萬全ヲ期スル爲ニ、豫定シ得ル事項ニ付テハ總テ之ヲ網羅シテ、サウシテ一朝事有ル場合ニ於テ、全國家ノ人的、物的力ヲ總テ綜合シテ事ニ當ルト云フ準備ノ爲デゴザイマスカラ、各條ガ軍需工業動員法ヨリモ廣キ規定ヲ持チ、又種々種類モ多イ規定ガアルノデアリマス、左様ナ意味合カラ致シマシテ御考ヲ願ヒタイモノデアルト考ヘル次第デアリマス

○櫻井委員 戰時體制ニ於テ如何ナルコトが必要デアルカト云フコトハ、今更御説明ヲ俟タズトモ私ハ曩ニ申上ゲタノデ、其事

ハ能ク承知致シテ居リマス、唯其事ヲ出來得ル限り法律ニ規定スベキデハナイカト云フコトガ要點デアアル、軍機ニ關スルモノハ是ハ已ムヲ得マセヌ、今モ軍需工業動員法ノ事例ヲ舉ゲラレタガ、法律ニ規定ガシテアルカラ、其問題ニ對シテ吾々ハ何モ言フコトハナイ、法律ニ其内容ヲ出サレテ議會ガ承認スル、ソレデ何モ問題ハナイノデアリマス、所ガ法律ニ出シ得ル範圍ノコトヲモ法律ニ出サレナイト云フ所ニ、問題ガ懸ツテ居ル、何ト云ツテモ此形ハ憲法ノ大精神ニ背ク、此問題ハソコカラ發生シテ來テ居ル、ソレデ私ハ茲ニ實例ヲ以テ御聽キシマセウ、之ニハ戰時規定ト平時規定トガアル、戰時規定ノ中ニモ私ハ軍機ニ關スルモノバカリダトハ思ヒマセヌ、戰時規定デアッテモ軍事ニ關ハラナイモノハ、出來ルダケ之ヲ法文化スルト云フコトハ當然デアアル、況ヤ平時規定ニ至リマシテハ、是ハ主トシテ準備ノ問題デアリ、國民ノ嚮フ所ヲ知ラシメ、而シテ國民ヲ訓練ショウト云フコトヲ主眼トシタモノデアリマスカラ、是ハ國民ニ知ラセナケレバ、其目的ヲ達スルコトハ出來ナイモノデアアル、然ルニ平時規定モ之ヲ勅令ニ其内容ヲ讓ッテ、之ヲ法文ニ明記セラレナイノハ如何ナル譯デアアルカ、之ヲハッキ

リ御答辯ヲ願ハナイト、益々吾々ノ疑義ガ深クナルバカリデアリマス

○鹽野國務大臣 平時ノ準備規定ニ於キマシテモ、勅令ノ定ムル所ニ依リト云フ規定ガ多數ゴザイマス、平時ノ規定ト言ヒマスケレドモ、是モ其儘戰時ニ適用サレルノデアリマシテ、戰時ノ場合ヲモ考ヘテ置カナケレバナラスト思フノデアリマス、平時ノ準備ハシテ居ル、併シ戰爭ガ始タナラバ其準備ハ要ラスト云フノデハナイノデアリマシテ、戰爭中モヤハリ準備ノ行動行爲ハ必要ニナツテ居ルノデアリマス、ソコデ平常ニ於キマシテハ、勿論勅令ノ規定ヲ早く制定シテ一般國民ニ知ラセルコトハ急ヲ要スルモノト考ヘマス、併ナガラ其定ムベキ事項ニ付キマシテハ、豫メ平常ノ狀態ニ於テモ想定シ得ルコトガ多々アリマスカラ、ソレニ付テハ早く勅令ヲ出シテ置ク、又戰時ニナツテカラ、特殊ノ必要ガ生ズル場合ガアリマス、サウ云フ戰時ノヤウナ事態ノ變化多キ場合ニ於キマシテハ、又ソレニ應ズル勅令ヲ出ス必要ガゴザイマス、義務ノ本質ハ各本條ニ決メテ居ル、ソレニ於テ國民ノ覺悟ヲ要求シテ居ル、其義務ヲ執行スル各種ノ手段方法ニ付テハ、勅令ニ依ッテ之ヲ制限シテ置ク、斯ウ云フ立前ニナツテ居ルノ

デアリマシテ、勿論戰時規定ニ於キマシテモ、當時カラ之ヲ勅令ノ上ニ現シテ、サウシテ臣民ニ覺悟ヲ持タセルト云フコトモ必要デアリマス、平時ノ規定ニ於キマシテハ尙更早く是ハ勅令ニ現スコトガ必要デアリマスガ、併シ先程申上ゲタヤウニ、戰時ニ先ヅ此規定ガ適用セラレルノデアリマスカラ、戰時ニ於ケル變動ニ對シテハ、其際ニハ其際ノ勅令ガ出ル、斯ウ云フ風ニ用意サレネバナラスト考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○青木政府委員 只今ノ御尋ニ一言補充的ニ御答シテ置キタイト思ヒマス、先程ノ御尋ノ中ニ、軍需工業動員法ハ事柄ヲ具體的ニ規定シテ居ルノニ、今度ハソレト違ッテ内容ヲ全然不明ナラシメテ居ルカラ、先例ニナラスト云フ趣旨ノ御尋ガアツタノデアリマシテ、此點ニ付キマシテノ政府ノ見所ヲ申上ゲマスト、此法律自身ガ規定致シテ居リマスル形ト云フモノハ、軍需工業動員法ト今度ノ總動員法トハ、何等違ッテ居ラナイト云フ見方ヲ致シテ居リマス、又立法ノ趣旨モ其通りデアリマス、唯軍需工業動員法ハ、目的ガ軍需ノ充足ニ限ラレテ居ル結果ト致シマシテ、其法律ヲ適用スル品物ノ範圍、或ハ工場ノ範圍ト云フモノハ、自ラ

其範圍ニ限ラレテ居リマス、唯、今回ハ先程國務大臣カラ御話ノ如ク、獨リ軍需ノ充足ニ限ラズ、一般民需ノ充足ニ迄其目的ヲ擴張シテ居リマス爲ニ、其適用ノ品物ナリ工場ナリ、サウ云フヤウナ範圍ガ廣クナッテ居ルニ過ギナイノデアリマシテ、法律自身ガ規定シテ居ル程度ト云フモノハ、軍需工業動員法ト今回ノ法律トハ何等違ッテ居リマセス、隨テ憲法上ノ見地カラ申シマスレバ、全然同ジ系統、同ジ形態ノ法律デアリマシテ、唯其事項ナリ或ハ條項ガ殖エマシタノハ、法律ノ目的ガソレダケ廣クナッタ當然ノ結果デアルト考ヘテ居リマス

○櫻井委員 私ハ遺憾ナガラ今ノ鹽野國務大臣ノ御答辯ハ、ドウモ分ラナイノデアリマシテ、モウ一度之ヲ繰返シマス、私ノ御聽キシテ居ル點ハ、軍機ノ機密ニ關スル點ハ仕方ガアリマセスガ、其點カラ見レバ平時規定ノ如キハ殆ト其機密ニ屬スル點ハ少カラウト思ヒマス、デアルカラ是ハ勅令デナシニ、出來ルダケ其内容ヲ法律ニ出サレルノガ至當デハナイカ、斯ウ云フ點ヲ聽イテ居ルノデアリマス、ソレニ對シテ鹽野國務大臣ハ、勅令ヲ此分ダケハ早く出スト言ハレル、早く出ス遅ク出スト云フコトヲ私ハ聽イテ居ルノデハナイ、法律ニ規定出來

ルコトヲ、何故法律ヲ回避シテ勅令ニ持ッテ行カレルノデアルカ、此點ヲ聽イテ居ル、私ハソレガ爲ニ緊急勅令ノ如キ事後承諾ノ條件ノアルモノデスラモ、伊藤公ハアノヤウニ解釋ヲ付ケテ居ラレルト云フコトヲ、先程申上ゲテ置イタノデアル、鹽野國務大臣ハ此精神ヲオ忘レニナッテ、今ノヤウナ答辯ヲナサルノデハアリマセスカ、問題ノ要點ハ、法律ニ明記出來ルコトヲ何故勅令ニ持ッテ行ツカ、此點ヲ御尋ネ致シマス

○鹽野國務大臣 本條ノ義務ヲ勅令ニ依ッテ成ベク制限ラシテ置クト云フノデ、勅令ヲ拵ヘマスガ、此勅令ノ内容ガ一定不動ノモノデアリマスレバ、之ヲ法律ニ書ク方ガ宜イト思ヒマス、併ナガラ其手段方法ハ、色々事情ノ變更ニ依リマシテ違テ參ルモノデアリマス、殊ニ戰時ニナリマスレバ色々必要ガアッテ、色々ノ標準ヲ決メナケレバナラヌト思フノデアリマス、然ルニ之ヲ法律ニ依リマシタ場合ニハ、法律ハ御承知ノヤウニ固定的ナモノデアリマシテ、之ヲ變更致シマスニハ相當ノ時間ヲ要スルモノデアリマス、其急ニ應ズル處置ヲ執リマスニハ、法律ヨリモ尙ホ改廢變更ノ手數ノ簡略ナ方ニ依ルコトガ適當ト考ヘラレルデアリマス、尙ホ繰返シテ申上ゲレ

バ、此勅令ニ依ッテ臣民ニ新ニ義務ヲ負ハセルノデハナクシテ、各本條ニ於テ義務ヲ負ハセテ居ル、其義務ヲドノ程度ニ制限スルカ勅令ニ依ッテ決メル、其決メル方法ハ事態ノ變更ニ從テ、又變更シナケレバナラヌ狀態ニナルカラ、勅令ニ於テ之ヲ決メル方ガ便宜デアリ穩當デアル、斯ウ云フ趣意デゴザイマス

○櫻井委員 サウ致シマスレバ、先程鹽野國務大臣ハ、其中デモ平時規定ニ屬スルヤウナコトハ勅令ヲ早く出ス、斯ウ言ハレテ居ル、戰時ノ場合、事變ノ場合ニ將來ノ變化ヲ見テ、サウ云フ時ニ適宜ニ出スト云フコトニナレバ、早く出スト言ハレタコトハ是ハ間違ヒデアル、早く出セナイデハナイカト思フ、其處ニ矛盾ハゴザイマセスカ  
ソレカラモウ一ツ聽キマス、平時規定ニ付テ今ノヤウナ趣旨デアレバ、帝國臣民ヲ徵用スルト云フコトハ、是ハ平時規定ノ中ニ入ッテ居リマスガ、是ハ將來何カ變化ヲ見タ上デナケレバ、ドウ云フ人間ハ徵用ノ中カラ省クト云フヤウナコトハ決メラレヌコトニナッテ來ル、將來ノ事情ヲ見タ上デ此人的給付ノ内容ヲ決メル、斯ウ云フコトニナルノデアリマスカ  
ソレカラモウ一ツ、第二十二條ノ學校、

養成所、工場、事業場其ノ他技能者ノ養成ニ關シ必要ナル事柄ト云フヤウナモノハ、是ハ平時カラ訓練シナケレバナラヌ、用意シナケレバ役ニ立タヌ、逸早く爲サレナケレバナラヌコトデアリマス、是モヤハリ將來何カ變化ヲ見タ上デ此内容ヲ御決メニナルト云フノデアリマス、ソレカラ試驗研究機關ノ管理獎勵ト云フヤウナモノ、斯ウ云フモノハ早く試驗研究ヲヤラセル必要ガアル、是モヤハリ將來ノ變化ヲ見テ、ソレニ應ジマシテ試驗研究ヲ始メルコトガ適當ト云フコトニナリマス、今申サウニ總括シテ出來ルダケ法文化シ得ルモノヲモ法文化シナイ所ニ問題ノ重點ガアル、何故ソレヲ回避セラレテ居ルノカト云フ質問ニ對シテハ、鹽野國務大臣ノ答辯ハ、答辯トシテ當ッテ居ラナイ、是ハ他ノ政府委員デナシニ、鹽野國務大臣ヨリ重ネテ、變化ヲ見テソレニ應ズルコトヲ内容トシナケレバナラヌカラ、是ハ法文ニ明記スルコトハ出來ナイ、勅令ニ讓ツタノダト此理由ヲ述ベテ居ラレル所ノ鹽野國務大臣カラ、是等ノ實際ノ點ニ付テ、ソレハオ前ハサウ言フケレドモ、ソレモヤハリ將來ノ變化ヲ見テ立テナケレバナラヌノダト云フ理由ガアルナラ、ソレヲハッキリ御説明ヲ願ヒタイ

○鹽野國務大臣 御尋ノ點ニ付テハ二ツノ

方面カラ考ヘルコトガ必要ト考ヘマス、即チ勅令ト云フモノガ一本デアルトスツカリ決メルカドウカト申シマス、サウデハナ

イノデアリマス、勅令ハ何遍出テモ宜シイノデアリマス、ソコデ其内容デアリマスルガ、内容ニハ今カラハッキリト想定ノ付クモノガアル、サウシテ又早くソレヲ公布シテ、臣民ニ知ラセテ置ク必要ノモノガアリマス、

左様ナモノヲ早く勅令ニ依ッテ公布シテ置ク、又内容ニナルモノガ事態ノ變化ニ依ッテ必要ヲ感じテ來ル場合ニ、第二ノ勅令トシテ之ヲ發布スルコトモ出來ル、其事態ノ變化ハ戰時ニナレバ尙ホ一層變化ガ多イ、尙ホ豫定シ得ル事柄デモ、今出スコトハ對外的ニ差支ヲ生ズル、或ル時期ニナッテカラ之ヲ公布シテ國民ニ知ラセル方ガ適當デアルト云フ場合ガアリマス、ソコデ豫メ想定シ得ル事項ニ付キマシテモ、之ヲ全部一本ノ勅令ニ依ッテ總テ出スト云フコトハ、動員計畫ノ上ニ於キマシテ不都合ノ生ズルコトモアルノデアリマス、計畫ノ運用ノ上ニ於テハ都合ガ好クテモ、ソレハ國家トシテ不利益デアルト云フ場合ガアルノデアリマス、

隨テ早く出シテモ宜イモノハ早く勅令ノ上ニ現ハシテ之ヲ公布スル、或ル時期マデハ

待ツト云フモノモアリマセウ、又變化ニ伴

ヒマシテ新ニ必要ヲ生ズルト云フモノハ、又新ニ之ヲ出ス、斯ウ云フ意味合デゴザイマス

○櫻井委員 ソレデハ實例デ聞キマスガ、「チエッコスロバキヤ」ノ人的給付ハ八項目バカリ法律決メデアリマス、之ヲ決メルコトガ對外的ニモ、將來ノ變化ヲ豫想スル上ニ於テモ、ソレハ法律決メルコトハ惡イ、斯ウ言ハレルノデアリマス、ソレカラ職工ヲ養成シテ居ル工場ニハ、ドウ云フ設備ヲサセテ居ルト云フ、技能者ノ養成ニ關スルコトデアリマス、サウ云フヤウナコトモ出來ルダケ法文ニ掲ゲテ置クト云フヤウナコトハ、是ハ對外的ニ惡イト仰シヤルノデアリマス、

○鹽野國務大臣 對外的ニ惡イト云フヤウナ事項ハ極ク少イノデアリマス、多クハ之ヲ早く定メテ現ハスガ宜カラウト考ヘマス

○櫻井委員 甚ダ遺憾デアリマス、私ハ最初カラ申上ゲテ居ル、納得ノ行クヤウナ御説明ガ願ヒタイ

○齋藤委員 關聯質問デ……

○小川委員長 關聯質問ハ簡單ナ點ニ於テ許シマス

〔ソシナコトハ言ハスデモ宜イ〕其他

發言スル者アリ

○齋藤委員 ソレデハ改メテ質問致シマスガ、改メテ質問スルト云フコトニナルト、却テ議事ノ進行ノ上ニ於テ不便デハアリマセヌカ、進ンデ見タリ退イテ見タリ、又進ンデ見タリ退イテ見タリ、私ハ議事ノ進行ニ便利ノ爲ニ、今櫻井君ガ言ハレタ質問ニ便乗シテ質問シタイト思フノデスガ、ドウデス、御許シナリマス、

○小川委員長 大體理事ノ間デサウ云フ相談ラシテ居リマシタカラ右様申上ゲタソデアリマス、宜シウゴザイマス

○齋藤委員 今ノ櫻井君ノ質問事項ハ、是ハ極メテ重要ナ質問デアアルノデアリマス、私本會議ニ於キマシテモ此點ニ觸レタノデアリマス、ケレドモ、之ニ關スル答辯ハ得ラレナカッタノデアリマシテ、改メテ委員會ニ於テ質問ヲスル積リデアリマシタ、所ガ櫻井君カラシテ之ニ關係アル御質問ガアリマシタカラ、此機會ヲ捉ヘテ改メテ御伺致シマス、能ク政府ノ方々ニ於キマシテモ御承知ヲ願ッテ置キタイノデアリマス、御承知ノ通りニ日本ノ憲法ハ、國ノ内外ニ起ル有ユル場合ニ於キマシテ國家ノ活動ヲ支配スルニ足ルベキ、極メテ周到ナル注意ノ上ニ立テラレテ居ルノデアリマス、即チ戰時

ト言ハズ、事變ト言ハズ、天災地變、其他

如何ナル場合ニ於テモ國家ノ要求ニ應ズルコトガ出來得ルヤウニ、完全ナル用意ノ上ニ立テラレテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ政府ガ憲法ヲ運用スルニ當リマシテ、憲法ノ條章ニ依ッテ國ノ政治ガ出來ナイト云フ場合ハ斷ジテナイノデアリマス、如何ナル場合ニ於テモ出來ル、繰返シテ申シマスガ、戰時事變ヲ問ハズ、天災地變ヲ問ハズ、如何ナル場合ニ於テモ憲法ノ條章ニ基イテ國ノ政ヲ行フコトガ出來ルヤウニナッテ居ルノデアリマス、コ、ヲ能クアナク方ニ於テ御承知ニナッテ居ラネバナラス、問題トナッテ居リマス所ハ、立法事項、即チ法律ニ於テ規定スルコトガ出來ルノヲナゼ勅令ニ讓ラレルノデアアルカ、此處ナノデアリマス、鹽野サンハ色々言葉ハ用ヒラレマセヌケレドモ、吾々ガ聽イテ居リマス、結局ハ胡麻化シデアリマス、胡麻化シデアッテ、少シモ勅令ニ讓ラネバナラスト云フ理由ニナッテ居ラス、ナゼニ勅令ニ於テ規定シテ、法律ニ於テ規定スルコトガ出來ナイノデアアルカ、何カアルノデアアルカ、法律ニ於テ規定スルト云フト、時々事變ノ推移ニ伴ウテ之ヲ變更スル場合ニハ困ル、困リモ何モシナイノデアリマス、困ラナイヤウニ憲法ニ於

テ規定ガ出来テ居ルノデアリマス、議會

ニ諮レ、議會ガ開イテ居ラナイナラバ、

臨時議會ヲ開ケ、臨時議會ガ間ニ合ハナイ

ナラバ勅命ニ依レ、斯ウ云フ風ニ憲法ハ至

レリ、盡セリデ、斯ウ云フヤウナ場合ニ應

ズル所ノ準備ガ出来テ居ルノデアル、其途

ヲ執ラズシテ、特ニ此勅令ニ讓ラナケレバ

ナラヌト云フ理由ガ何處ニアル、カト云フ

コトガ、本會ノ問題ニナッテ居ルノデア

ル、ソコヲハッキリト御答ニナラヌト、此

問題ハ何時マデ經ッテモ蒸返シ、此委員

會ヲ終ルマデ蒸返サレルニ相違ナイニ今ノ

ヤウナ御答辯デハ其理由ニナラヌノデアリ

マス、殊ニ第五十條ニハ總動員ノ審議會ヲ

開クト云フコトガアリマスガ、審議會ニ何

ヲ一體掛ケラレルノデアリマスガ、恐ラク

勅令ヲ制定セラレルニ當ッテ審議會ニ掛ケ

ラレルノデアラウト思フ、其勅令モ審議會

ニ掛ケヌト云フナラバ、審議會ハ何ノ爲ニ

設ケラレルノデアルカ、審議會ニ掛ケルコ

トガ出来ル案ガ議會ニ於テハ掛ケラレス、

サウ云フ諮問ヲスルコトガ出来ナイト云フ

理窟ハドウシテモ出デ来ナイノデアリマス、

ソコヲ櫻井君モ言ッテ居ラレルノデアリマ

スカラ、此點ニ對シマシテ、能ク政府ノ

立場ヲ明ニセラレヌト云フト、此問題ハ解

決スルコトガ出来ヌト思ヒマス

○鹽野國務大臣 同ジコトヲ申上ゲマスヤ

ウデアリマスガ、臣民ニ對スル義務ハ各本

條ニ於テ定メテ居ルノデアリマシテ、命令

ニ讓ル範圍ハ其義務以上ニハ出ナイノデア

リマス、命令ニ依ッテ新シイ義務ヲ負ハセル

ト云フコトニナリマスレバ、是ハ私共トシ

テモ非常ナ問題デアラウト考ヘルノデアリ

マスルガ、此場合ニ於キマシテハ臣民ニ對

シテ、其自由財産ヲ斯ク、ニ制限スルゾ、

剝奪スルゾト云フコトハ本文ニ明記シテア

ルノデアリマス、其規定ノ範圍内ニ於テ手

段方法等ニ付テ勅令ニ讓ル、斯様デアリマ

スルカラ此勅令ハ此法律ノ内容ヲ成スノデ

アリマシテ、既ニ臨時工業動員法ヲ初メ、

幾多同ジ例ノ立法ガ本議會ヲ通過致シテ居

ル次第デアルト考ヘマス、其勅令ノ内容ガ

決ッテ居ルナラバ、法律ニ決メタラ宜イデハ

ナイカ、審議會ニ掛ケル場合ニハ、決ッテ居

ルカラ掛ケルノデアラウト云フ御説デアリ

マシテ、洵ニ御尤デアリマスルガ、先程モ

申上ゲマス通り其内容トナリマス事項ガ今

ヨリ決メ得ルモノモアリマスルシ、決メ得

ザルモノモアルノデアリマス、時ノ變化ニ

依リマシテ之ヲ變更スルコトモ必要ニナル

ノデアリマスルカラ、ヤハリ從來ノ例ニ依

リマシテ、勅令ニ定ムル所ニ依リト云フコ

トニ致スノガ最モ適切デアルト考ヘテ居ル

次第デアリマス

○齋藤委員 御尋ヲ致シマスルガ、勅令デ

決メルコトハ此法律ニ決メテアル事柄ヲ對

象トシテ之ヲ執行スル、一言ニシテ申シマ

スルナラバ、先ヅ手續ニ關スルヤウナコト

ヲ勅令決メルノデアアル、斯ウ云フ御趣旨

ノヤウニ承ルノデアリマス、手續デアラウ

ガナカラウガ、兎ニ角勅令ニ依ッテ決メルト

云フコトラバ議會ノ協贊ヲ經テ法律ニ規定

セラレル以上ハ、此勅令ニ於テ定メラレル

事柄ハ勅令事項デハナクシテ、立法事項デ

アルト云フコトハ御承知ニナッテ居ルダラ

ウト思ヒマス、即チ法律ニ於テ決メルコト

ヲバ法律ニ規定セズシテ、勅令ニ讓ルガ爲

ニ此議會ノ協贊ヲ經ルト云フコトニナルダ

ラウト思ヒマス、其事柄ノ性質如何ハ問題

デハナイ、問題ハ勅令事項デアルカ、立法

事項デアルカト云フコトニアルノデアリマ

ス、此立法事項ヲ勅令ニ依ッテ決メラレルノ

デアリマス、而モ勅令ニ依ッテ決メルト云フ

コトハ、勅令ニ依ラナケレバナラヌト云フ

譯ノモノデナイ、議會ノ協贊ヲ經テモ決メ

ルコトガ出来ルノデアリマス、只今豫メ規

定シテ置イテモ宜イ事項モアルシ、又事變

ノ推移ニ應ジテ緊急ニ決メナケレバナラヌ、

ト云フ事柄モアルコトデアリマスガ、緊急

ニ決メナケレバナラヌ事柄デアッテモ、最

前申シマシタヤウニ之ヲ決メルガ爲ニ法律

ニ代ルベキ緊急勅令ノ途ガアルノデアリマ

ス、況ヤ緊急ニ決メナクテモ今日カラデモ

決メテモ宜シイト云フ其事柄ヲ、ナゼ勅令

ニ讓ッテ法律ニ規定シナイノデアルカ、此處

ニ問題ガアルノデアリマス、アナタノ説明

デハドウシテモ説明ニナッテ居ラヌノデア

リマス

○瀧政府委員 私カラ御答シタイト思ヒマ

スガ、如何デスカ

○齋藤委員 宜シウゴザイマス

○瀧政府委員 只今ノ齋藤サンノ御質問ハ

一番大事ナ點ニ觸レテ居ルト思ヒマスノ

デ、十分ニ御諒解ヲ願ヒタイト思ヒマス、

緊急勅令デヤッテモ、其時ニ臨時議會ヲ開イ

テ後ニ立法ヲ致シマシテモ、勿論宜シイト

思ヒマス、ソレヲ惡イト考ヘテ此立法ヲシ

タノデハアリマセヌ、唯其場合ニドウ云フ

コトラ願慮シテ宜イカ、ドウ云フ點ニ氣ヲ付

ケナケレバナラヌカト申シマス、戰爭ガ

始ツタ場合ニ、其必要ニ應ジテ其度毎ニ臨時

議會デ立法ヲシテ行キマスルト、オ五ガ其

時ノ國家總動員ノ全貌ヲ見渡スコトガ出来

マセス、一ツノ立法ハ他ノ立法ノ追加ヲ伴ヒマス、追加々々ト云フ立法ノ形ガ起ッテ参リマス、加之一ツノ立法ヲシ、又ハ緊急勅令ヲ發スル度毎ニ他ノ關係法律ノ修正ヲ要シマス、追加トカ、修正ト云フコトヲ繰返シテ行キマス、戰時火急ノ場合ニ國民ハ今後ドレダケノ法律ガ出テ來ルカ、又ドレダケノ修正ガ加ヘラレルカ、非常ニ混雜ヲ來シマス、故ニ前以テ之ヲ定メテ置キマス、一貫シタル統制ノ大體ノ方針ノ見透シガ付キマス、隨テ御説ノヤウニ委任ノ勅令ガ多い、廣汎デアルトカ、廣汎デナイトカ云フヤウナ御話モアリマシタガ、ソレハ言葉ノ程度デアリマシテ、御説ノ通りニ相當廣汎ナルモノダト思ヒマス、其點ニ於テハ御心配ノ通りノ心配モアルト思ヒマス、ケレドモ大體ノ一貫セル統制ノ方針ヲ定メテ置キマス、大體國民ハ總動員ガ行ハレル場合ニハ斯クノ所ニ斯ウ云フ問題ガ來ルト云フ大綱ニ互ッテノ先ヅ一應ノ理解ガアリマス、然ル上ニ勅令ハドウ云フ方針デ出スカト申シマス、必要ノ限度ヲ越エナイヤウニ、適宜ノ程度ニ於テ勅令ヲ出ス、斯ウ云フ方針ニナッテ居リマス、寧ロ勅令ハ制限的、限定的ニ働クト考ヘマスカラ左様御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○齋藤委員 ドウモ甚ダ遺憾千萬デアリマスケレドモ、大臣ノ御答辯、折角ノ政府委員ノ御答辯デモ、獨リ私バカリデハアリマセス、此處ニ居ラレマス所ノ委員ノ方々ハ到底御諒承セラレルコトガ出來ヌデアラウト思ヒマス、兎ニ角憲法ニ於テ立法事項トシテ規定シテアリ、サウシテ議會ノ協賛ヲ經ナクテハ決メルコトノ出來ナイ事柄ヲ勅令ニ讓ルト云フノデアリマスルカラシテ、ヨクノ場合デナイトサウ云フヤウナ變則ノ途ヲ採ルベキモノデハナイノデアリマス、成程戰時ハ大切デアリマス、戰時ハ大切デアルト云フコトハ、國民ノ代表者タル議會ヲ無視シテ、政府ガ獨斷專行デ、勅令デヤラナケレバナラヌト云フ理由ニハナラヌノデアリマス(ヒヤ／＼)戰時ニ於テ大切デアレバアル程、益、胸襟ヲ披イテ、國民ト相談ヲシテ政治ヲヤルト云フコトガ、軍事上ノ目的ヲ達スル上ニ於テモ極メテ大切ナコトデアラウト思ヒマス、法律ニ於テ先ヅ大綱ヲ示シテ、サウシテ國民ニ知ラシメテ國民ニ覺悟ヲ求メルト云フノデアリマスケレドモ、此法律ダケデハソレガ分ラヌノデアリマス、此法律ハ唯國家總動員ノ對象物ヲ示シタダケノコトデアッテ、私ガ本會ニ於テ申シマシタヤウニ、唯國民總動員ノ總

論ヲ決メタト云フコトダケノコトデアッテ、各論ハ一切現ハシテナイノデアリマスルカラシテ、是ダケノコトデハ國民ハ何ノ意味デアルカ、是ガ如何ニ行ハレテ、如何ニ活動スルカト云フコトハ分ラナイノデアリマス、分ラシメルヤウニシヨウトスレバ今日出來ル限りノ程度ニ於テ法律ニ於テ明示スルコトコソ、國民ニ覺悟ヲ求メル所以デハナイカ、私ハ斯ウ思ッテ居ルノデアリマス、幸ニシテ陸軍大臣ガ出ラレマシタカラ一言申シテ置キマスガ、陸軍大臣ハ本會議カラ昨日ニ掛ケテ、頻リニ此國家總動員ノ必要ナルコトヲ力説セラレテ居リマス、私等ハ初メニ申シマスルヤウニ、總動員ノ必要ナルコトニ付テハ少シモ反對致シテ居ル者デハナイノデアリマス、陸軍大臣ハ或ハ總動員ノ必要ナルコトダケヲ非常ニ御存ジニナッテ居ッテ、サウシテ法律ノ形式、法律ノ方法ト云フコトニ付テハ御存ジニナッテ居ラス、是ハ無理デハナイノデアリマス、今ノ軍部ノ方々ガ憲法トカ法律ナドガ分ルモノデハナイ、故ニ其點ニ付テアナタ方ハ御考ニナッテ居ラスノハ私ハ少シモ咎メナイ、併シ今度ノ此立法ハサウ云フ方面ニモ議論ガアリマス、併シ主トシテ日本ノ憲法ノ運用ニ關スルコトガ非常ニ重點ニナッテ居リマ

スカラ、此點モ陸軍大臣ハ能ク御承知ニナッテ此法案ニ向ハレネバナラヌト思ヒマス、返ス／＼モ申シマスルガ、立法事項ヲ勅令ニ讓ラネバナラヌト云フ理由ハ、今日マデノ所ニ於テハ國務大臣ニ於テモ、政府委員ニ於テモ十分説明ガ出來テ居ラヌト私ハ考ヘテ居リマス、今日デナクテモ宜シイノデアリマス、何レ此問題ハ蒸シ返シ／＼此委員會ニ現ハレルコトト思ヒマスルカラ、能ク御研究ノ上ニ於テ、モットハッキリシタ、ドウシテモ法律デハイケス、勅令デナクテハイカヌト云フ確カナ理由ヲ御考ニナッテ御臨ミニナラヌト云フト、私ハ議事ノ進行ノ上ニ於テ一ツノ暗影ヲ生ズルモノデアルト思フ、左様ニ御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス

○櫻井委員 關聯質問ニ於テ齋藤君ノ仰セラレタコトハ洵ニ重要ナルコトデアリマサガ、私ノ此點ニ關シテ先刻來御尋シテ居ルノハ、變ッタ角度カラデアリマス、齋藤君ノ方ハ、洵ニ我國ノ憲法ハ良ク出來テ居ル、有ユル場合ヲ想定シテアルカラ、幾ラモ是等ノ許サレタ範圍デ行ケルデナイカ、是ハ尤ナ大切ナ點デアリマスガ、私ハ姑クソレヲ別ニ致シマシテ、今齋藤君ナドノ言ハレルコトヲ全部肯定致シマシテモ、尙ホ且ツ

勅令ニ讓ラナイデ法律ニ記載スルコトガ出來ルモノヲ、故ラカドウカハ分リマセヌガ、ナゼ勅令ニ讓ルノデアルカ、此點ガ私ノ聽イテ居ル要點デアリマス、而モソレニ對シテ先刻カラ實例ヲ示シテ聽イテ居ルケレドモ、其實例ニ對シテ鹽野國務大臣ハソレニ該當スル答辯ヲ與ヘラレナイ、政府ノ考ヘ方ハ綜合一本デ行ツタ方ガ宜イト云フ考ヘ方デセウ、物ヲ體系付ケルノニハ相當理由アリトシテ私ハ受取ツテ居リマス、居リマスケレドモ、其理由ノ下ニ於テモ尙ホ且ツ勅令ニ讓ラナイデ、法文ニ記載シテ行ケルモノガ澤山アル、ソレヲ法文化シテ行ケバ、又此案ニ對スル不安ト云フモノハ餘程除カレルノデアル、ソレニ拘ラズ何故其用意ヲセラレナイノカ、斯ウ云フコトヲ聞イテ居ル、私ハ之ヲ突キ詰メテ、瀧總裁ノ言ハレルヤウナコトヲ言フナラバ、具體的ニ事例ヲ舉ゲテ聞キマセウ、先程鹽野國務大臣ニ聞イテモ御答辯ガ出來ナイヤウデアル即チ第四條ノ「帝國臣民ヲ徵用シテ總動員業務ニ從事セシムルコトヲ得」是デ國民ノ有リト有ユル者ハ誰デモ徵用スルコトガ出來ルノデアル、然ルニ「チェッコスロバキヤ」ノ國家防衛法ニハドウ規定シテ居ルカ、其第六十八條ニ於テ、人的給付ノ免除規定ヲ設ケテアル、其免除

セラル、者ハ八項自ニ互ツテ居ル、第一ハ肉體的又ハ精神的ニ無能力ナル者、ソレカラ十七歳未満又ハ六十歳ヲ超ユル者、國會及政府ノ各成員並ニ「ボドカルパチカールス」地方總督及ビ「チェッコスロバキヤ」ノ國民銀行ノ總裁、是モ徵用カラ免除サレル、ソレカラ國務及ビ其他ノ公務ニ從事スル者、公共團體ノ理事並ニ國ノ公認シタル教會及ビ宗教團體ノ職ニ在ル牧師、以下尙ホ四項目アリマス、斯ウ云フ風ニ國民ハ徵用スルガ、免除セラル、者ハ何人デアルト云フコトヲ明ニ法文化シテ出シテ居ル、斯ウ云フコトヲ第四條ノ内容トシテ、之ヲ勅令ニ讓ラナイデ、何故法文ニ出セナイカ、吾々ハ議會ニ居ルカラ敢テ言フノデハナイ、議員ハ前ノ「チェッコ」ノ法律デハ免除サレルコトニナツテ居ル、私ハ先程申シマシタ通りニ、政府ノ氣ニ喰ハヌ者ハ徵用スル、今ノ政府ハサウ云フコトハヤルマイガ、若シ間違ツタ政府ガ出テ、政府ニ氣ニ喰ハヌ者ヲ徵用シヨウト思ヘバ、チャント適法ニ議會ヲ骨抜きニスルコトモ出來レバ、全員ヲ徵用スルコトモ出來ル、ソコデ「チェッコスロバキヤ」ノ法規ニハ此ニ思フ致シテ、斯ウ云フ者ハ除外シテアルデハアリマセヌカ、獨逸ノ授權法ノ結果ハドウデス、九十

何票ノ反對ニ對シテ、四百何票ノ贊成ヲ以テ授權法ガ通過シタ、授權法ガ通過スルヤ否ヤ、其翌日直チニ反對シタル九十何名ノ者ハ追跡ヲ受ケテ捕縛サレ、警察カラ警察ニ送ラレテ、其行方ハドウナツタカ分ラナイ、一度サウ云フ法律ガ現ハレ、バ、其法律ニ依ツテ適法ニヤル方法ガアツタト見エマス、私ハ不思議デ堪ラス、何ノ罪名ニ依ツテヤツタカト云フコトヲ聞イテ見マスト、公金費消トカ云フ罪名ト言ヒマス、私ハ敢テ特殊ナ場合ヲ想像スル譯デハアリマセヌケレドモ、ヤラウト思ヘバ出來ルヂヤアリマセヌカ、斯ウ云フ點ヲ何故舉ゲテ置カヌカ、國家總動員ハ必要デアル、國民精神ノ協力ヲ基礎トシテ總動員ヲ行ヒタイト言ハル、以上、苟モ國民ニ不安ヲ感ゼシムルガ如キコト、又何等カ政體ニ質的變態ヲ起サユナ虞アルコトニ付テハ、周到ナル御注意ガナケレバナラス、此「チェッコスロバキヤ」ノ法律ニ八項目記載サレタヤウナコトヲ、此第四條ニナゼ法文化シテ明記出來ナイノカ、ソレヲハキリ言フテ戴キタイ

○瀧政府委員 御尤ナ御質問デゴザイマス、ソレニ付キマシテハ實ハ陸軍大臣カラモ、他ノ大臣カラモ申サレテ居ルノデアリマシマス、戰爭ニナリマスト、ドウシテモ勝タナケレバナラス、其戰勝ノ目的ノ爲ニ全力ヲ舉ゲテ、有ユル場合ニ手落ちノナイヤウニスルト云フコトガ眼目ニナツテ居リマスノデ、實ハ今日カラ豫想シ難イコトガ相當アラウト思フノデアリマシテ、「チェッコスロバキヤ」ノヤウニ書カグトスレバ、書キ得ルコトハ相當アラウト思ヒマスケレドモ、ソレヲ書イテシマヒマスト、限定サレテシマヒマス、所ガ愈、戰爭ニナリマスト、迎モ今カラ豫知シ得ナカッタコトガ起ツテ來ルト思ヒマス、サウ云フヤウナコトヲ考ヘタノデゴザイマス

○櫻井委員 ソレ故ニ私ハ實例ヲ舉ゲテ聽イテ居ル、問題ヲ詰メテ申シテ居ルノデ、帝國議會ノ議員ヲ此内容ニ現シテ置クト云フコトガ、ドウシテ出來ナイカ、將來變化ガ起ル場合ニ、ヤハリ之ヲ全部徵用シナケレバナラスコトガ起ルト云フ考ノ下ニ、サウナツテ居リマス、其點實例ニ付テ御答ヲ願ヒタイ、今ノヤウナ御答デアルト、詰リ將來戰爭ノ場合ニ色々ナ變化ガ起ルカラ、其時ニ其必要ガ起ル、其時ノコトヲ考慮シテ置カナケレバナラスノデ法文ニ舉ゲナイト言ハレル、然ラバ帝國議會ノ議員ハ、全部之ヲ徵用スルノ必要ガアルト云フコトヲ豫定シテ居レマスカ

○瀧政府委員 獨逸ノ授權法ナドヲ御想像

ニナッテ居リマスカラ、大變吾々ノ想像モシ  
ナイ所ヘ話ガ参リマスガ、實ハ授權法ハア  
レハ平時ニ於テ憲法ニ反シテモ法律ヲ作ッ  
テ宜イ、憲法ニ反スル法律デモ作ッテ宜イ  
ト云フヤウナ授權法デアリマスガ、サウ云  
フコトデナシニ、是ハ戰爭ノ時ダケデ、非  
常ニ想像以外ノコトガ起ッテ來ルカラ、戰爭  
ノ目的ヲ達スル爲ニ有ユルコトヲ手落ノナ  
イヤウニシテ置キタイ、斯ウ云フコトナン  
デス(今ノ質問ニ答辯シ給ヘ)ト呼フ者アリ  
私ハ戰爭ノコトヲ知りマセヌカラ、陸軍  
大臣カラ御願シナケレバイケマセヌガ、例  
ヘテ見ルト敵前上陸ヲヤル場合ニ、大キナ  
洗濯竿ノヤウナモノヲ持ッタ漁師ノヤウナ  
者ヲ徵用スル、斯ウ云フヤウナコトニナリ  
マス、洗濯竿ガ何ノ爲ニ要ルカ、其時ニ  
漁師ガ何ノ爲ニ要ルカト云フヤウナコトハ  
前カラ分ラヌコトガ能クアリマス、其時ノ  
敵前上陸ノ狀況ニ依ッテ起ッテ來ルノデアリ  
マスカラ、ドウシテモ前以テ明確ニ規定シ  
得ナイノデアリマス

○櫻井委員 私ハ實例ヲ舉ゲテ、帝國議會  
ノ議員ヲ何故此徵用ノ免除ノ項ニ舉ゲルコ  
トガ出來ナイカト云フコトヲ、具體的ニ聽  
イテ居ルノニ、チットモ之ニ對スル御答辯ガ

ナイ、斯ウ云フ調子デ御答辯ニナッテ居ラ  
レテハ、吾々幾ラ努力シテ質問シテモ、政府  
ノ眞意ヲ理解スルコトガ出來ナイト思ヒマ  
スガ、最早時間モ十二時ヲ過ギテ居リマス  
シ、篤ト私共ノ理解ノ行クヤウナ答辯ヲナ  
サルコトニ付テ、政府ハ少シク休憩ニナッテ  
御考ニナッタ方が宜イカト思ヒマス

○中山委員 議事進行ニ付テ——只今マデ  
私共ガ靜ニ政府ノ御答辯並ニ國務大臣ノ御  
説明ヲ承ッテ居リマス、ドウモサッパリ問  
題ニナラヌト思フ、恰モ國家ト云フモノヲ  
背景ニシテ自分ノ説ヲ無理押シスルヤウナ  
感ジヲ與ヘル、ドウカモウ少シ十分ニ慎重  
ニ御用意ヲナサッテ、國民ノ満足スルヤウナ  
態度ヲ以テ、議事ヲ速ニ進メルヤウナ方法  
ヲ執ッテ戴キタイト云フコトヲ、委員長カラ  
仰シヤッテ戴キタイ

○板野委員 議事ノ進行ニ付テ一言シタイ  
ト思フ、只今マデ承リマシタ政府ノ御答辯  
ノ内容ノコトナドハ、今中山君ノ仰シヤッ  
通りデアリマス、甚ダ貧弱デアッテ、内容ガ  
ハッキリシナイ傾ガアリマス、之ヲ遺憾トス  
ル點ニ於テハ中山君ト同様デアリマス、其  
外ニ形ノ上ニ於テモウ少シ勉強シテ貫ヒタ  
イト云フノガ、私ノ是カラ申シタイコトデ  
アリマス、今日ノ委員會ハ午前十時開會ニ

決ッテ居リ、委員ハ揃ッテ居ツタ、唯政府ノ方

ノ出席ガ揃ハヌ、鹽野サンハ他ノ餘リ遅レ  
ラレタ人ヨリハ早くオ出デニナリマシタガ、  
今日ハ遺憾ナガラ總理大臣ガ病氣デ出ラレ  
ナイノデアッテ、事實ニ於テ總理大臣ニ代ル  
ト云フ意味デズツト廣田外相ガ之ニ當ル、其  
廣田サンガ出テ來ヌ、ソレデ十時ノ開會ガ  
十一時ニナツタ、私ノ其間ニ於テ、委員長ヲ  
非公式ニ早クヤッテハドウカト、所謂私語ヲ  
シタラ、政府ガ來ナイカラダト委員長ハ答  
ヘラレタ、事實上ノ質問戰ニ入ツタ第一日ニ  
於テ、政府ノ出席ガ遅クテ一時間ヲ空費ス  
ルガ如キハ、甚ダ形ノ上ニ於テ遺憾デアル、  
サウシテ出テ來テモ答辯ガナッテ居ナイコ  
トハ、中山君ノ言フ通りデアル、ドウカ政  
府ノ方ニ於テモ篤ト眞面目ニナッテ、此重要  
法案ノ答辯ニ當ラレヌコトヲ希望スル、委  
員長ヲ通ジテ特ニ政府ニ此意見ヲ傳ヘラレ  
ルヤウ希望シマス

○濱田委員 私ハ參考資料ノ要求デアリマ  
ス、國家總動員法ト云フモノハ、近時世界  
ノ大勢ニ順應シテ必要ナルモノデアルト云  
フコトヲ、吾々ガ理解シナイヤウニ政府側デ  
誤解ガアッテハ宜シクナイ、又國家ノ爲ニモ  
宜クナイ、之ニ付テ私ノ要求スル參考資料  
ヲ政府ガ御出シニナルト、吾々ガ二十年前カ

ラ國家總動員ノ必要ヲ痛感シテ、其準備ヲ

政黨側ガシテ居ツタモノダト云フコトガ能ク  
分ル、而シテ政黨側ガドウ云フ所ヲ睨ンデ  
國家總動員ノ立法ヲシヨウト心掛ケテ居  
タト云フコトガ能ク分ル、ソレハ外デモナ  
イ、二十年前ニ國務院ト云フモノガ原内閣時  
代ニ置カレタ、國務院ハ今日企畫院ノ内容  
ト稍類似シタ所ノアル役所デアリマス、小  
川平吉君ガ總裁デ、阿部壽準君ガ第一部長  
トナリマシテ、政府ノ各方面ヲ網羅シテ、  
百二十二回ニ互ッテ動員法立案ノ研究ガ續  
ケラレタノデアリマス、今日ノ企畫院ガ新  
規發明ノヤウニ動員法ヲ思ッテ居リマスケ  
レドモ、サウヂヤナイ、是ハ原内閣ト云フ  
政黨内閣ノ時代ニ、百二十二回バカリ委員  
會ヲ開イテ軍部ヨリハ先般マデ、哈爾濱  
駐在師團長デアラレタ廣瀨君、不幸ヲ受ケ  
ラレマシタ陸軍ノ永田鐵山君、是等ノ諸君  
ガ關係シ血眼ニナッテ、又誠心誠意ヲ披瀝シ  
テ、穩健ナル國家總動員法ノ立案ト云フモ  
ノハ大體出來上ッテ居ル、是ハ國務院廢止後、  
恐ラク資源局アタリニ公文書トシテ引繼ガ  
レテ居ルモノト思フ、資源局ノ廢止ニ依ッ  
テ瀧君ノ主宰セラレル企畫院ニ、國家ノ  
重要ナル公文書トシテ保存セラレテ居ルモ  
ノデアルト思フ、是ハ政黨内閣ニ於テ調査

立案セラレタル國家總動員法デアリマス、之ヲ參考資料トシテ提出セラレタイ、茲ニ憲法上ノ議論ハ別トシテ、少シ年ガ経ッテ居リマスカラ、世界ノ大勢上規定スベキ内容ニモ整理異動ヲ加フベキコトハ當然デアアルガ、政黨側ノ狙ッテ居ル國家總動員法案ノ根幹ト云フモノガ能ク分ル、政府モソレヲ能ク見ルガ宜シイ、吾々委員モ勿論先輩ノ調査立案シタルモノヲ、モウ一遍眞面目ニ研究シテ見タイ、斯ウ云フ爲ニ舊國勢院ニ於テ百二十數回ニ互ッテ調査シタル國家總動員調査文書、之ヲ纏メテ提出サレタイ、是ダケヲ要求シテ置キマス

○宮脇委員 一寸議事進行ニ付テ……先程カラ聴イテ居マスト、政府ノ方ニ相當ナ御用意ガアレバ議事ハ進ムト私ハ思フ、戰爭スル以上ハ戰爭ニハ勝タンケレバナラナイ是ハ何人モ異存ナイ、ソレガ爲ニハ總動員上ニ於テモ完璧ヲ期シタイト云フコトモ異存ナイ、唯問題トスル所ハ、斯ウ云フ法案ガ此目的ヲ達スル爲ニ善イカ惡イカ、縱シ善イトシマシテモ、此他ニ憲法ヲ尊重シテ目的ヲ達スル方法ガアリヤ否ヤ、世間動モスレバ憲法制定當時ト現在トハ戰爭ノ機構ニ於テ、準備ニ於テ、隨テ總動員ノ關係ニ於テモ大變遷ッテ居ル、故ニ憲法論ノミデハイカヌト云フ

說ヲ爲ス者ガアリマスルガ、併ナガラサウ云フ意見ガアルコトヲ頭ニ置イテ、更ニ憲法ヲ讀直シテ見マスト云フト、前申スヤウニ戰爭ニ勝ツ爲ニハ總テノ物ヲ犠牲ニシナケレバナラナイ、物ニ關ハッテハ元モ子モ無クナルト云フヤウナコトヲ頭ニ置イテ考ヘテ見マシテモ、吾々ノ考デハ現在ノ憲法ノ諸條規ニ從ッテモ、此法案ノ目的トスル所ハ達スル、即チ戰勝ノ爲ニ總テヲ完備ショウト云フコトハ私ハ出來ルト思フ、之ニ關シマシテ此處デ幾ラ此程度ヲ以テ質問應答シマシテモ、政府當局ト議員トノ間ニ餘程懸隔ガアルト思フ、故ニ政府トシマシテモ其信念ガアリマスルナラバ、此法案ニ依ラズンバドウシテモ出來ヌノデアルト云フコトヲ、凡ソ此論争ノ要點ハ分ッテ居マスルカラシテ、能ク政府當局ハ御協議ニナリマシテ、先刻來ノ質問ノ根本ニ付テ、吾々ガ諒解ヲ得ルヤウナ御答辯ヲ御願シタイト思ヒマス、此問題ガ殘ッテ居リマシテハ、結局此案ノ審議中ニ於テ、往ツタリ戻ツタリシテ歸著點ニ到達セヌ、ドウカ私ハ是ハ議事進行ノ根本デアリマスカラ、政府當局ニ於テハ十分此點御留意アッテ、御研究ノ上御答辯ヲ願ヒタイ、例ヘバ今申シマスヤウニ、内容ガ言ヘナイト云フガ、是ハ言葉ノ末カモ知レナイ

ガ、其内容ニ於テ漁師ノ持ッテ居ル洗濯竿ト云フコトヲ言ハレル、サウ云フコトヲ聽ク意思ハアリマセヌ、洵ニ滑稽千萬デアアル、吾々議員ガ此法案ノ内容ヲ聽クニ當ッテ、漁師ノ持ッテ居ル洗濯竿ヲドウスルトカ云フコトヲ聽クノデハナイ、是ハ言葉ノ末デアリマセウガ、私ハ言葉尻ヲ捉ヘル譯デアアリマセヌガ、ドウカ今少シ此點ヲ内容ニ付テモ出來ル限リハ知ラセル、私共ハ内容全部トハ申シマセヌガ、併シ大體ノ骨子ハ成ベク國民ニ知ラシテ貰ヒタイ、成ベク知ラサウト云フノト、成ベク知ラセマイトスルノトハ非常ニソコニ幅ガアル、ドウカ議員モ一生懸命ヤリマスカラ、政府ニ於テモ御留意アッテ、此根本問題ヲ研究サレテ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○瀧政府委員 成程洗濯竿ナドノ小サイ例ヲ申シマシタノハ惡ウゴザイマシタ、決シテサウ云フ意思デアリマセヌ、嫌ヒナモノヲ強要スルト云フコトハ斷ジテ致シマセヌカラ、ドウゾ御諒承ヲ願ヒマス  
○小川委員長 委員長ヨリ一言政府ニ申上ゲマス、只今ノ議場ノ光景ハ御覽ノ通りデアリマス、此議事進行ニ依ッテ要望セラレテ居ルコトニ鑑ミマシテ、政府ハ應答ニ遺憾ナキヲ期セラレンコトヲ望ミマス、是ニ

テ休憩致シマシテ、午後二時半ヨリ豫算委員會室ニ於テ開會致シマス

午後零時十六分休憩

午後三時十六分開議

○小川委員長 休憩前ニ引續キマシテ會議ヲ開キマス——櫻井君

○櫻井委員 私ハ午前中ニ此案ノ形ガ甚ダ面白クナイ、此形自體ニ於テ既ニ憲法ノ大精神ニ背クト云フコトヲ重點ニシテ御尋ラ致シタノデアリマスガ、只今ヨリ私ハ形自體ガ憲法ノ大精神ニ背クヤウナ形ヲ以テ生レテ來タ此案ノ裏ニ潛ム所ノ意圖ハ何デアルカ——意圖ト云フ言葉ガ強過ギレバ意味デモ宜シイ、之ヲ御尋シナケレバナラヌノデアリマス、私ハ斯ノ如キ形ヲ以テ生レタ案ハ、其内容ニ於テ唯偶然デアッテ、何モ意圖ガナイカドウカト云フコトニ付テハ、直グ様肯クコトガ出來ナイ、此内容ニハ多分ニ獨裁政治ノ考ガ入ッテ居ハシナイカ、「ファッショ」ト云フ考ガ入ッテ居ハシナイカ、固ヨリ斯ノ如キコトヲ考ヘマスコトハ既ニ非常識カモ知レヌ、非常識ト言ハレテモ仕方ガナイノデアリマス、事ガ常態デアレバ斯ノ如キコトガ想像サレ得ベキ筈ノモノデハナイノデアリマス、即チ去ル二月十一日憲法發布五十年ノ式典ニ當リマシテ、畏クモ

憲法發布以來能ク民情ガ暢達ヲシタ、國運ガ興隆ヲ致シタ、將來ニ對シテモ能ク憲法ヲ奉遵セヨト云フ、洵ニ有難キ御勅語ヲ賜ツタノデアリマス、斯ノ如キ有難キ御勅語ヲ賜ツテ居リマス我ガ憲法政治ノ上ニ於テ、憲法ノ形ニ背クコトハ勿論ノコト、其精神ニ背ク政治ノ考ヘ方ト云フモノハアリ得ナイ筈デアリマス、併ナガラ此案ノ實際ニ付テ考ヘテ見マスルト、午前ニモ申上ゲマシタ通り、國民ハ此案ノ現レルヤ非常ナ衝動ヲ受ケ、議會モ貴族院、衆議院ヲ通ジテ、此問題ヲ非常ニ重視スルヤウニナツタ、本來此案ノ目的カラ言ヘバ、私ハ左様ナ衝動ヲ感ジナイデモ、又左様ニ大騒ギセヌデモ宜イ筈デアルト思フ、他ノ意味ノコトヲ考ヘナイデ此問題ダケヲ考ヘレバ、單ニ斯ウ考ヘテモ宜イ、戰時ノ動員計畫ニ對シテハ既ニ幾多ノ法令ガ出テ居ル、此バラ／＼ナ法令ヲ綜合シ、體系ヲ立テ、一層有效ニ發動サセヨウト云フダケノ目的ニ過ギナイデアラウト、斯ウ受取ツテ宜イノデアアル、私ハ他ニ具體的ノ法律ガ列國ノ立法例ニアルカト思フテ調ベテ見マシテ、一番詳シイ「チェッコスロバキヤ」ノ動員法ヲ手ニ入レルコトガ出來タ、是ハ今吾々ガ手ニシテ居ル五十條ノ總テヲ包括委任スルヤウナ簡單ナモノデナ

ク、一々細カク法律ヲ決ツテ居ル、洵ニ能クモ斯ノ如ク細カイコトヲ集メタト思フテ參考ニスル積リデ段々研究シテ行キマス、何ゾ圖ラン、是ガ我國ニ於テ幾多雨霰ノ如ク出テ居ル所ノ動員ヲ目的トスル法令ヲ、寧ロ先方ノ方ガ日本ヲ參考ニシテ作ツタノデハナイカト云フヤウニ考ヘラレル點ガ甚ダ多イ、今サウ見テ居ル人モ澤山アリマス、軍需工業動員法、非常立法、其他徵發令、色々數ヲ調べテ居タ人ガアリマスガ、成程考ヘテ見ルト餘程澤山アルヤウデアリマス、併ナガラ之ヲ綜合シテ一ツノ體系ヲ立テル、是ダケノコトハ洵ニ結構ナコトデアアル、戰爭ガ國力戰デアル今日ニ於テ、能ク體系ヲ立テ法案ヲ以テ、最高度ニ國力ヲ發揮スルト云フ此目的ハ洵ニ結構デアアル、其目的ヲ達スルガ爲ニバラ／＼ノ法律ヲ集メテ體系ヲ立テル、是モ結構デアアル、若シ軍ガ中心ニナツテオヤリニナツタトスレバ、恐ラク私ハソレダケノ御考デアッタラウト思フ、ソレガドウシテ斯ウ云フ大騒ギノ問題ニナツタカト申シマス、理窟ハ兎モ角トシテ、國民ノ受取ツタ感じハ、議會ノ協賛ヲ經テ法律ヲ作ルベキモノノ内容ヲ、總テ委任狀ニ渡スノダカラ何ヲサレルデアラウ、此點ニ係ッテ來テ居ル、國民ノ衝動ヲ受ケタノハ其

點ニアル、ソレ故ニ私ガ前カラ申上ゲタヤウニ、戰時ノ場合ニ本當ニ國力ノ能率ヲ發揮スルト云フコトガ中心デ考ヘラレタモノデアラナラバ、此案ノ立法方ト云フモノハ、實ニ世ノ誤解ヲ惹キ起ス不用意ナモノデアッタと思フ、今デハ此案ノ中カラ除イテ居ラレルヤウデゴザイマスガ、之ニ軍以外ノ各省ガチヨ／＼便乗シテ居ラレル、便乗モ結構デアリマス、體系ヲ立テルニハサウ云フコトモ必要デアアル、ケレドモ、ソレモ内容ヲ示サズニ軍機保護法ヤ新聞紙法ガアルニ拘ラズ、恐ラクハ内務省デハナイカト思ヒマスガ、前ニアツタ要綱ノ二十、二十一、二十二ノ如キ、新聞ガ二度續イテ發賣禁止ヲ喰フト、今度ハズグ發行停止デアアル、言論、集會モドウ云フ内容ヲ以テ集會ヲ禁止セラレルノカ分ラヌ、政黨ナドモ氣ニ喰ハスト思フト解散セシメルコトモ出來ル、ソナ案スラモ便乗サシテ出デニナツタ、最初示サレタ要綱ハサウナツテ居ル、之ヲ除カレタノハ非常ニ私ハ宜カッタと思フノデアリマスガ、サウ云フ意味ニ於テハ衝動ヲ受ケテ居ルノデアリマスカラ、此案ヲ政府ガ成立セシメントセラレルノニハ、案ノ形ハ不用意デアツタカモ知レヌガ、其裏、其内容ニ於テ決シテサウ云フ獨裁政治ヲヤラ

ウトカ、「フツシヨ」デ行カウト云フヤウナ意圖ガ無いノデアルト云フコトヲ、國民ガ納得出來ル迄ノ御説明ガ無い限り、此案ト云フモノハドウシテモ信用ガ出來ナイコトニナルノダト私ハ思ヒマス、前申シマスルヤウニ、獨裁政治ナドト云フコトハ、我國ニアリ得ナイコトダト思ヒマスガ、ソレニシテモ事實トシテハ、獨裁政治ヲ目指シテ、好ンデソレニ進マウト云フ、一ツノ流レガ全然無イトハ言ヘナイ、今ノ國內ノ政治的思想ノ流レヲ考ヘマス、左翼の思想、是ハ餘程衰ヘタデアリマセウガ、其思想ニ對シテ、行過ギタ右翼思想、獨裁政治ノ思想ガアリ、其中間ニ憲法ノ精神ニ從ッテ、穩健ナル政治ヲ以テ發達シテ行カナケレバナラスト云フ考ヘ方、此三ツノ流レガアルコトハ事實デアリマス、要ハ其行過ギタル所ノ右翼獨裁思想ニ對シテ、世間ハ今危惧ヲ懷イテ居ルノデアアル、此點ニ對シテ國務大臣ニ於テ、若シサウ云フ意圖ガ無いナラバ無イト云フコトヲ、吾々ノ會得ノ出來ルヤウニ、信用ノ出來ル御説明ガ願ヒタイ、具體的ニ伺フナラバ、私ハ此獨裁的政治ノ考ヘ方ガ、全然我が國體ニ合ハスト確信スルノデアリマスガ、之ニ對スル國務大臣ノ信念ハ如何デアリマスカ、「フツシヨ」政治ハ我が國體

ニ合ハナイ、事實實例ヲ御覽ナサイ、伊太利ハドウデアル、伊太利ト雖モ憲法ハアル、百年バカリ前ニ作ラレタ憲法ガアツテ、チャント皇帝ガ御在リニナル、ケレドモ茲ニ一ツノ「ムッソリーニ」ト云フ獨裁政治家ガ出テ來テ、其憲法ヲ改正シテ獨裁政治ヲ行フヤウニナツテ以後ドウデアリマス、少數ノ知ツテ居ル者ハ伊太利ニ皇帝ガアル、憲法ガアルト云フコトヲ知ツテ居ルケレドモ、一般世間ハ伊太利ト言ヘバ「ムッソリーニ」獨裁政治、是ダケノ觀念シカ浮ンデ來ナイ、獨逸ハドウデアル、アノ獨裁政治家「ヒトラー」ガ出テ來タ結果トシマシテ、アノ十四年間續イタ「ワイマール」憲法ハ一朝ニシテ抹殺サレ、其憲法ヲ抹殺スルノニモ洵ニムゴイ手段デ、憲法ニ基イタ議會ニ於テ憲法抹殺ノ議決ヲサシタ、其議決ヲサシタ翌日カラ、之ニ反對シタ者ヲ悉ク縛リ上ゲテシマツタ、國體モ違ヒマスガ、獨逸ハ此獨裁政治家一人デ最初ノ授權法ハ四年間ノ期限ガ付イテ居ツタ、ソレガ四年後ニナツタラ永久法トナリ大統領モ無クナツテ、「ヒトラー」自ラ指導者トシテ永久ニ其憲法ガ變更セラレタ、否憲法ハ事實無イデアリマセウ、議會モ無クナツタ、斯ウ云フ經過デアル、我國ノ歴史ト雖モ亦武門政治ガ旺盛ナル時代ニ

於テハ、臣民ハ洵ニ皇室ノ式微ヲ慨シ奉ツタ時デアル、我國ニ於テドウシテ獨裁政治ガ成リ立ツカ、斷ジテ我が國體ニ合ハヌト私ハ確信スル者デアリマスガ、如何デアリマス、廣田國務大臣ノ御考ハ前ノ總理大臣ノ時カラ分ツテ居リマスガ、廣田國務大臣及ビ末次內務大臣ノ此點ニ對スル信念ヲ、私ハ伺ヒタイノデアリマス、先頃來色々ナ取締ニ於テ、ドウモヤハリ獨裁的ノ氣分デオヤリニナツテ居ルノデハナイカト云フヤウナコトヲ、世間ニ想像スル者ガアルノデアリマス、私ハ是ハ洵ニ末次內務大臣ノ爲ニ御氣ノ毒デアルト思フ、決シテサウ云フ考ガオアリニナルノデハナイト、私ハ想像ヲ致シテ居リマスガ、斯ノ如キ機會ニ國務大臣トシテ、獨裁政治ト云フモノガ我が國體ニ一致スルモノカドウカト云フコトニ對シテ、ハッキリトシタ信念ヲ御述ベニナルコトヲ私ハ希望致スノデアリマス、先ヅ此點ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○廣田國務大臣 我國ノ政治體形ニ付キマシテ只今櫻井君ノ御述ベニナリマシタ點ハ、私モ同様ノ信念ヲ持ツテ居ルノデアリマス、今日世界各國ニハ色々政治ノ體形ヲ異ニシテ居ル國ガアリマスガ、是ハ其國ノ境遇ノ結果、色々ノ組織ガ行ハレテ居ルト思フノデアリマス、我國ニ於キマシテハ明治維新以來長クモ明治天皇御欽定ノ帝國憲法ト云フモノガ嚴存致シテ居リマス、此憲法ヲ發布相成リマスル際ニハ、明治天皇ニ於カセラレテハ、我が子孫ハ此憲法ヲ遵守シテ政治ヲシロト云フ思召ガアリ、同時ニ國民モ此憲法ヲ守ツテ行ケト云フ御言葉モアルノデアリマス、隨テ如何ニ社會ノ風潮ガ變化致シマシテモ、我國ハ飽マデ明治天皇ノ御欽定ニナラレマシタ帝國憲法ノ條章ヲ遵守シテ政治ヲ進メテ行クベキモノデアルト確信致シテ居ルノデアリマス

○末次國務大臣 「ファッショ」政治ハ伊太利獨特ノ國情及ビ必要ニ依ツテ生レタモノデアラウト存ジマス、我國ニ於キマシテハ、世界ニ誇ル立派ナ國體ニ基ク欽定憲法ガアルノデアリマシテ、他ノ國ニ如何ナル政治ガアリマセウトモ、我國トシテハ此立派ナ欽定憲法ノ精神ニ依ツテ政治ガ行ハレル、隨テ此章條ヲ遵奉シテ行クト云フ信念ヲ以テ政治ニ當ツテ居ル譯デアリマス

○櫻井委員 洵ニ當然ノ御考デアルト思ヒマス、私ハ更ニ此點ニ關シテ、此總動員法ヲ私共ガ扱フニ當リマシテ、之ヲ契機トシテ更ニ希望ヲ附加ヘタイ、今ノヤウナ廣田國務大臣ノ御信念、末次內務大臣ノ御信念ガ其通りデアリマスル以上、我國ノ政治ノ指導精神ト云フモノニ付テ、政府ハモウ少シハッキリト此指導精神ガ通ルヤウニセラレルコトガ必要デアルト思フ、一言ニシテ言ヘバ、今我國ハ、政治上ニモ思想上ニモ混亂期デアアル、尤モ是ハ獨リ我國バカリヂヤナイ世界ハ混亂期デアリ、轉換期デアアル、白人文明モ全ク行詰ツテ、今マデノ政治原則モ、彼等カラ出テ來タ政治原則ニ對シテノ信念モ失ツテ居ルヤウデアリマスガ、全クノ政治ノ混亂轉換期デアアル、亞細亞ソレ自體ニ於キマシテモ、自ラノ解放ノ爲ニ起上ラウト云フ一ツノ混亂ヲ今起シ掛ケテ居ル、我國モ亦今マデ原則ト考ヘテ居ツタコトニ幾多ノ疑念ヲ起シ、幾多ノ混亂ヲ起シテ居ルト云フ此事實ハ否定出來ナイ、或ハ左翼、或ハ極端ナル右翼——右翼ノ中デモ、今國家ノ要求、社會ノ要求ニ應ジテ、而モ複雑ナル內容ヲ持チ、急激ナル科學的ノ變化ヲ起シタ此情勢ニ於テ、國家ノ目的ニ應ゼシメル爲ノ體系ヲ立テル意味ニ於テノ統制ナラバ、是ハ私ハ必要ダト考ヘテ居リマス、之ニ對シテ過去ノ自由主義者ガ、幾多ノ自由主義ニ對スル弊害ノ現レテ居ルニ拘ラズ、之ニ未練ヲ持ツテ其弊害ヲ自ラ是正スルコトガ出來ナイト云フ態度ハ、是ハ洵ニ憐ムベキモ

ノデアル、右翼ト云ツテモ其中ニモ今言フヤ  
ウナ意味ノ右翼ハ是ハ結構デアル、適當デ  
アル、急激ナ科學ノ進歩ノ爲ニ色々ナ原則  
ガ壞レテ來テ居リマスカラ、新シイ體系ヲ  
考ヘルコトハ最モ必要デアル、ケレドモ行  
過ギタル右翼ヤ左翼、其中ニアツテ、何ダカ  
内務大臣ガ自由主義ハ何カ共產主義ノ溫床  
ダトカ何トカ言ハレタト云フノハ、是ハ何カ  
間違ヒダラウト思フ、勿論從來ノ弊害ハ飽  
マデ是正シナケレバナリマセス、併ナガラ  
ソシナ露骨ナ、説明ノ足りナイコトヲ言ハ  
レタトスレバ、是ハ内務大臣ノ間違ダト思  
フ、自由主義ハ共產主義ノ溫床ダトカ、ソ  
シナ考ヘ方デ日本ノ政治ノ指導精神ガ立テ  
ラレルモノデヤアリマセス、茲ニ私共ハ今  
言フ國體ニ基ク所ノ日本ノ政治ノ指導精神  
ト云フモノヲハッキリ打立テテ政府モ政黨  
モ國民モ皆ソレニ向ツテ驀地ニ進ムヤウニ  
致シタイ、此頃政府ノ方デ、時局ハ重大ダ、  
非常時デアル、國家ガ協力一致シナケレバナ  
ラスト言フ、吾々モ其意ヲ諒トシ、政黨モ  
之ニ協力ヲ致シテ居ル、國民モ其考ニ進シ  
デ居ル、進シテ居リマスガ、其協力一致ノ  
内容ハ何ダ、ハッキリシタ政治ノ指導精神ニ  
基イテ集ツタル所ノ舉國一致デナケレバ何  
等ノ價值ガナイデヤナイカ、果シテ現在ノ

實情ハ、政府ハ此指導精神ヲ適當ニ國民ノ  
間ニ徹底サシテ居ルト御考ニナツテ居リマ  
スカ、ドウデスカ、私ハサウ認メルコトガ  
出來ナイ、實ニ残念ニ思フ、又此法案ヲ契  
機トシテ飽マデ斯ノ如キコトハ一ツ論議ヲ  
シナケレバナラス、舉國一致ハ、眞理ヲ求  
メ道理ヲ求メ、吾々ノ國家進運ノ爲ニ要求  
セラル、所ニ合スル所ノ其意味ヲ把握シ  
テ、ソレニ依ツテ集マツタル所ノ舉國一致デ  
ナケレバ何等ノ價值ガナイ、浮浪人ガ喧嘩  
ヲシテ、サウシテ一杯飲シテ仲直リヲシヨ  
ウデヤナイカト云フテ、飲ムコトヲ目標ト  
シタ協力一致ノヤウナコトガ何ノ價值ガア  
ルカ、是ガ私ハ重點ダト思フ、幸ニシテ今  
兩國務大臣カラ、我が國體ニ即シタル所ノ  
萬古動カザル政治ノ指導原理ヲ指示セラレ  
タコトハ洵ニ私ハ幸ニ存ズルノデアリマス、  
其御考ガ總テノ行政機關ヲ通ジテ何等ノ遺  
憾ナキヤウニ徹底セラレルヤウナ御取計ヲ  
ナサルコトガ、現下最モ必要デアルト云フ  
コトヲ私ハ斷言ヲ致シテ置キマス、軍部ハ  
或ル理想ヲ懷イテ動イタデアリマセウ、官  
僚ハ官僚ノ考ヲ以テ進シダデアリマセウ、  
政黨ハ政黨ノ考デ、國民ハドウセラレルコ  
トカト云フヤウナ狀態ガ永續シテ、本當ニ  
之ヲ以テ行カナケレバナラスト云フ中心ヲ

把握シナイ狀態ガ續イタナラバ國家ハ滅亡  
ダト思フ、兎モ角モ國家ハ洵ニ重大ナル立  
場ニ在ルコトハ、政府ノ各場合ノ説明ニ依  
テ吾々ハ承知シテ居ル、是ハモウ實ニ能ク  
考ヘテ行カナケレバ、日本ノ混亂轉換ハド  
チラニデモ行キ、一步誤レバ實ニ國運ノ一  
蹶蹶ヲ來ス混亂變換期デアリ、之ヲ道ヲ誤  
ラズニ行ケバ益、興隆日本ノ實現ヲ見テ、  
世界人類ニ對スル吾々ノ使命ヲ果ス所ノ進  
行ヲ續ケルコトガ出來ルト考ヘテ居リマス  
ガ、願ハクハ此案ナドニ付テ國民ガ衝動ヲ  
受ケタ點ニ付テハ、政府ハ惡イト思ツタ惡  
イコトニ固執セズニ、今言フ目的ニ國民ヲ  
合流セシムルヤウナ考ヘ方ヲ以テ進マレン  
コトヲ、此場合私ハ切ニ希望ヲ致シテ置キ  
マス  
次ニ平戰時ヲ通ジテ此案ノ内容タルベキ  
勅令ニ付テハ、相當御準備ガ無論出來テ居  
ル筈ト思ヒマスケレドモ、軍機ニ關スル以  
外ノモノヲ直チニ發表セラレルコトガ當然  
ト考ヘマスガ、其點如何デアリマスカ  
○瀧政府委員 勅令ノ概要ニ付テハ近ク御  
手許ニ差上ゲヨウト思ツテ居ル次第デアリ  
マス  
〔河野委員「近クトハ何時頃デスカ、遲  
レルト審議ガ遅レマスヨ」ト呼フ〕

○瀧政府委員 時間ハハッキリ聴キマセヌ  
デシタガ、間モナク出來ルサウデアリマス  
○櫻井委員 其勅令ハ其數ニ於テ凡ソドノ  
位ノモノデアリ、發表シ得ザルモノト、發  
表シ得ルモノト——發表シ得ルモノハ直チ  
ニ頂戴出來ルト思ヒマスガ、其數ハドウ云  
フ風ニ考ヘテ宜シイカ  
○青木政府委員 近ク御示シ致シマス内容  
ハ、本法ノ運用ニ關スル主要ナル方針、隨  
ヒマシテ勅令デ制定サルベキ事項ノ概要テ  
アリマシテ、勅令其モノヲ御示スルト云  
フノデハナイノデアリマス、隨テ勅令ノ數  
等ハ只今マダ豫定致シテ居リマセス  
○櫻井委員 概要ダケデナク、内容モ、軍  
機ニ關セザル限りノモノハソレヲ全部勅令  
案トシテ早ク御發表ニナツテ戴キタイ——  
尤モ變化ヲ豫想シタ場合ノモノハ別デアリ  
マスガ、サウシナケレバ、國民ノ所謂戰時  
體制ノ訓練ヲヤルト云フコトガ一ツノ眼目  
ニナツテ居ルノデアリマスガ、ソレガ出來ナ  
イデヤナイカト吾々ハ考ヘテ居ルノデアリ  
マス、此點ニ關シテ陸軍大臣ハドウ云フ風  
ニ御考ヘニナツテ居リマスガ、私ハ政府ノ説  
明ニハ一體最初カラ矛盾ガアルト思フ、内  
容ハ變化ガアルカラ、其時ニ應ジテ勅令ヲ  
作ル爲ニ發表出來ナイ、モウ一ツハ軍機ノ

爲ニ出來ナイト言フ、軍機ノ爲メハ當然デアリマスガ、ソレデスウ云フ案ノ實體ハ何モ分ラナイモノヲ出シテ置イテ、アトハ御説明ノ口吻デハ成ベク早く出サナイヤウニスル、ソレデアリナガラ戰時體制ノ訓練ヲスルノダト云フ、此點ハ陸軍大臣ハドウ云フ風ニ御考ヘニナリマスガ、私ハ出サナケレバ訓練ガ出來ナイ、用意ガ出來ナイト考ヘマスガ、此點ハ如何デアリマスガ

○杉山國務大臣

只今政府委員カラ申述ベマシタ通り、今後發布スベキ勅令ノ概要ヲ御示シスルコトニ依ッテ、大體ヲ明ニスルコトガ出來ルト存ジテ居リマス

○櫻井委員

只今私ノ御尋ヲシタ訓練ト云フコトガドウナルノダト云フコトニ付テ、モウ少シ明確ナ御答辯ヲ願ヒタイト思フノデアリマスルガ、ドウモ私共ハ少シ疑ハシイ點ガアル、私ハ此總動員法ヲ出スニ當ッテデナク、モウ既ニ總動員ノ實體ト云フモノハ、今マデノバラ／＼ノ法律デアラウト儘ヨ、其内容トナルベキ勅令ナドハ疾クニ出來テ居ナケレバナラヌ筈ダと思フ、我國ノ國際情勢ガ洵ニ容易ナラヌ關係ニアルト云フ此事情ハ、一年ヤ二年ヤ三年前カラ始ッタノデハナイ、何時如何ナル事ガアルカモ分ラヌノミナラズ、又吾々民族ガ民族ノ使命

ヲ達成スル爲ニ起上ル用意トシテモ、其觀點カラノミ見マシテモ、ソレ等ノ計畫ハ疾クニナクチャナラヌ筈ダと思ヒマス、否、畏多イコトデアルガ、憲法第三十一條ニ依ル所ノ非常大權ノ發動ノ場合ガアルト致シマスルナラバ、其場合ノ用意ノコトマデモ政府トシテ爲スベキ筈ノ用意ハチャント我國ノ情勢ノ下ニ於テハ出來テ居ル筈ダと思フ、私ノ仄聞スル所デハ、資源局其他今ノ企畫院系統ノ所ニ於テ從來研究ハサレタガ、我國ノ缺點ニ關スルヤウナモノノ、極メテ少イモノガ何カ少シ具體的ニ出來テ居ル、恐ラクハ此總動員法ガ出來テカラユックリオヤリニナルノデハナイカト云フヤウナコトヲ私ハ耳ニシタ、洵ニ私ハ驚イテ居ル、併ナガラ私ハソレヲ信ジナイ、ソナコトガアラウ筈ガナイ、ソレデ以テドウシテ國家ノ安泰ヲ期シテ行ク所ノ國防ノ任務ヲ負ハル、ノデアルカ、私ハ餘リ軍部ヲ疑ッテ居リマセヌ、實ハ海軍ノアノ飛行機ノ活躍ノ有様ヲ見マシテモ、實ニ國民ハ平生ノ御用意ニ對シテ感謝ノ念ヲ懷イテ居ル、ア、云フコトハ國民自ラ豫想シナカツタ、或ハ蘭州ニ飛ビ、重慶ニ飛ビ、而シテアノ技術、全ク此事柄ハ世界ノ大勢ヲ定メ、日本ノ安泰ヲ愈々固カラシメ、或ハ來ルヤモ知レスト云フ處ノア

ル所ノ禍ヲ未然ニ防イダト云フ氣持ヲ懷イテ居ルノデアリマス、軍部ニ對シテハ洵ニソレ等ノ點ニ私ハ深い信頼ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、今言フ此案ノ内容タルベキ勅令ナドハ、準備トシテ全部出來テ居ル筈ダと思フガ、出來テ居ラナイノデアリマスガ、是ハ杉山陸軍大臣ナリ、ドナタカラデモ、國務大臣カラ伺ヒタイト思フ

ラバ聽カウト思フノデアリマスケレドモ、御出デニナラヌヤウデアリマスカラ、ドナタカラデモ宜シウゴザイマスガ、此案ハ平時ト戰時トニ涉ッタ法案デアリマシテ、平時ニ關スル分ハ、是ハ平時ノ豫算デ御取リニナルコトと思フ、兎モ角モ此案ノ内容タルベキ勅令ハ、是ハ餘程大キナモノニナラウト思ヒマスガ、ソレヲ實施スルニ當リマシテハソレヲ實施スル豫算ガ必要デアル、平時ノモノハ今ノヤウナ關係デ御取リニナルト致シマシテモ、戰時ノ場合ハ、此案ノ内容ヲ實施スル爲ニ必要ナル豫算ハ憲法第七十條ノ財政上ノ緊急處分デオヤリニナルコトト思ヒマスガ、鹽野國務大臣、ソレニ間違ヒアリマセヌカ

○杉山國務大臣 只今御尋ノコトニ付キマシテハ、具體的ニ申上グルコトハ出來マセヌノデアリマスルガ、大體ノ研究ハ出來テ居ルノデアリマス、併ナガラ之ヲ法的ニ確定スルト云フ所マデニ至ッテ居リマセヌノデ、此處ニ御示シヲスルノハ極ク大體ノコトデナケレバ御示シヲスルコトガ出來ナイト云フノデアリマシテ、準備ハ長イ間掛ッテ研究ヲシ、又其大體モ完成ニ近付イテ居ルノデアリマスルガ、確定的ニ此處ニ公式ニ御示シヲスルコトガ困難デアルト云フ事情デアリマシテ、今日ノ狀態カラ考ヘマンテ、準備ヲシ、訓練ヲスル爲ニ必要ナル勅令ヲ愚圖々々シテ居ルト云フヤウナコトニ付テハ、軍トシテハ決シテ輕ク視テ居ルノデハナイノデアリマス、此點ハドウゾ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○鹽野國務大臣 御尋ノ費用ノ點ハ、臨時ニ豫備金カラ出スナリ、或ハ又御話ノヤウナ非常處分ヲ執ルナリ致スコトニナリマス、又餘裕ノアル場合ニハ、豫算トシテ議會ノ協賛ヲ經ルト云フコトニナルノデアリマス

○櫻井委員 時間的餘裕ノアル場合ニ議會ノ協賛ヲ經テ御取リニナルト云フコトハ、是ハマア結構ナコトデアリマス、豫備金カラ御出シニナルモ宜イノデアリマス、併ナガラ私ノ考ヘル所ニ依リマスレバ、此案ノ内容ト云フモノハ、愈々戰時體制ヘ入りマス

○櫻井委員 次ニ、大藏大臣ガ居ラレルナ

レバ餘程龐大ナモノニナルカラ少カラヌ豫算ヲ要スル、斯ウ考ヘマスノデ、其點カラ考ヘマスルト、限リ有ル豫備金デハ到底足リルモノデハナイ、サウ致シマス今御述ニナリマシタ憲法第七十條ノ財政上ノ緊急處分デ御出シナルト云フ、此點ガ最モ内容ノ多イモノニナルノデハナイカト思ヒマス、併ナガラ其分量ノコトハ今姑ク別ト致シマシテ、兎モ角モ憲法第七十條ノ財政上ノ緊急處分ニ依ッテ出ス積リデアルト云フコトハ、今國務大臣ノ答辯デハッキリ致シマシタ、サウ致シマスレバ茲ニ私共ハ大ナル疑問ヲ持ツ、午前中長々ト御説明ニナリマシタノハ、案ノ實體ヲ斯ウ云フ風ニ簡潔ナモノニシテ置クノハ、其内容ヲ色々ナ變化ノ場合ニ讓ルノデアル、而シテ其場合ハ總テ急グカラデアルト云フノガ、重大ナ一ツノ理由ニナッテ居ル、議會ニ諮ルコトモ出來ナイ、樞密院ニ掛ケルコトモ出來ナイト云フ、斯ウ云フ二ツノ場合ヲ豫想セラレテ、非常ニ急グト斯ウ言ッテ居ラレル、急グカラシテドウシテモ此方法デ行カケレバナラヌ、斯ウ言フコトデアル、今憲法第七十條ノ條項ニ依リマシテ、緊急處分デ行カレルトスルナラバ、財政上ノ緊急處分ハ、ドシテモ樞密院官制第六條第三項、即チ「第七十條ノ勅

令及云々」ニ依ッテ、憲法第七十條ノ勅令ハ樞密院ノ御諮詢ヲ經ナケレバナラヌ、御諮詢ヲ奏請シナケレバ途ハ開ケテ來ナイ、是ハドウナサル考デアリマス、一方ニ於テ樞密院ニ掛ケルコトモ出來ナイ、議會ニ諮ルコトモ出來ナイ場合ヲ豫想シテ斯ウシタノダト言ッテ置キナガラ、ソレヲ實施スル大ナル經費ガ樞密院ノ御諮詢ヲ奏請シナケレバ途ガ開カナイト云フノデハ、此案自體ニ於テ大ナル矛盾ト行詰リガ生ズルノデハアリマセヌカ、此點ヲ如何ニ御考ニナリマスカ

○鹽野國務大臣 命令ニ依ッテ委任ノ義務ヲ制限スル、手段方法ニ付テノ規定ハ命令ニ讓ル、ソレハ事態ノ變遷ニ依リマシテ方法ガ變ッテ來ル場合ガアルカラ、命令ニ依ルコトガ妥當デアルト云フコトヲ申シテ置イタノデアリマス、是ガ實施ニ當ッテハ、勿論餘裕ノアル場合ニハ豫算ヲ組ンデ、之ニ依ッテ實施致シテ參ルノデアリマス、唯金ノ出所ガ急場ノ場合ニハドウカト云フ御話デアリマスレバ、或ハ豫備金デ足りナケレバ、財政上ノ緊急處分ニ依ル場合モアリ得ルト云フ御話ヲ致シタノデアリマス、ソコデ緊急處分ノ場合ハ勿論樞密院ノ御諮詢ヲ仰グコトニナリマス、併ナガラ其事柄ト、本法ヲ制定致シマスニ付テノ御諮詢ヲ受ケルト云フ

コトハ別個ノ觀念ニナルト考ヘテ居リマス、本法ニ付キマシテハ樞密院官制ノ在來ノ解釋慣例ニ依リマシテ、御諮詢ヲ經ル必要ハナイモノト考ヘテ居ル次第デアリマス、實地ノ場合ト之ヲ制定スル場合トハ違フト考ヘテ居リマス

○櫻井委員 ドウモ鹽野國務大臣ハ私ノチットモ御尋ヲ致サナイ點ニ答辯セラレテ、洵ニ困ツタモノデアリマス、私ハ本法ヲナゼ樞密院ニ御諮詢ヲ奏請ナサラヌカト云フコトハ一言半句モ申シテ居ラナイ、其點ハ全然私ハ聽イテ居リマセヌ、又其點ニ關スル御答辯モ必要トシマセヌ、私ノ御尋致シタノハ、戰時ノ場合ニ先程仰セラレタヤウニ、餘裕ガアレバ議會ノ協賛ヲ經テ此案ノ實施ニ伴フ費用ヲ取ル、サモナケレバ豫備金カラ取ル、サウデナイ場合ニハ憲法第七十條ノ緊急處分デ取ルノダ、斯ウ云フ御話デアアル、議會ノ場合モ、豫備金ノ場合モ是ハ其通りデセウ、ソレニ付テハ私ハ何モ觸レマセヌ、最後ノ憲法第七十條ノ緊急處分デ取ラレル場合ノコトヲ今聽イテ居ルノデアリマス、問題ヲソレノミニ限局シテ御答辯ガ願ヒタイ、私ノ判斷スル所ニ依リマスレバ、豫備金モ限ラレテ居ル、議會ハ急ノ間ニ合ハヌ、斯ウ云フコトニナル

ト、ドウシテモ之ヲ實施スル場合ニ、無論大部分ノ費用ト云フモノハ、ヤハリ憲法第七十條ノ緊急處分ニ依ルヨリ外ニ仕方ガナイト思フ、サウスルト此案ノ内容ガ、勅令ガ三十出ルカ、四十出ルカ知リマセヌガ、其大部分ヲ實施シテ行クニ當ッテハ、又モ樞密院ノ御諮詢ヲ奏請、又モ樞密院ノ御諮詢ヲ奏請ト、度々樞密院ノ御諮詢奏請ヲ經テ、サウシテ實施ニ伴フ經費ヲ取ッテ行カケレバナラヌ、ソレガ實際ダト思フ、ソレガ實際ダトスレバ、私共ガ午前中ニ能ク御尋ヲシタコトニ對スル御答辯ノ、急グカラ樞密院ニモ掛ケテ居ルコトガ出來ナイカラ此形デ行クノダト云フ御説明ハ根柢カラ崩レテシマフ、此行詰リヲドウナサル、其點ノミニ限ッテノ御答辯ヲ御求メスル次第デアリマス

○鹽野國務大臣 樞密院ノ御諮詢ヲ奏請シナイト云フコトハ、只今申上ゲタヤウニ從來ノ官制ノ解釋上左様ニナッテ居ルノデアリマシテ、急グカラ、急ガヌカラト云フ問題デハナイノデアリマス

○櫻井委員 是ハドウシタモノデセウ、私ハ本案ノ奏請ニ付テ一言モ觸レテ居ラヌト云フコトヲ、重ネテ申上ゲテ居ルニ拘ラズ、何カ本案ヲ御諮詢ヲ經ナイノハドウ云

フ譯カト云フ質問ニ對スル御答辯ノヤウナ御答辯ヲナサツテ居ル、私ハ先程來御尋シテ居ルコトヲ鹽野國務大臣ハ御理解ニナツテ居ラスヤウデアリマスガ、誰カ他ノ方カラ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○青木政府委員 豫算ニ付キマシテハ、戰爭ニナリマシテ臨時議會等ヲ召集致サレマス場合ニハ、ソレガ豫定サレル時ニ於キマシテハ、軍事費等ト相並シテ相當ノ豫算ヲ要求サレルト思ヒマス、併ナガラ此豫算及ビ豫備金ニ於テ不足ノ分ニ付キマシテハ、或ハ御説ノ如ク財政上ノ緊急處分ニ依ルコトモアルカト思ヒマス、併ナガラ丁度豫算ノ場合ニ或ル見込ヲ立テ概算ノニ要求サレルト同ジヤウニ、財政上ノ緊急處分ニ付キマシテモ、相當ノ見込ヲ立テマシテ要求スルノデアリマスカラ、サウ本法ニ依ル強制權ノ發動ガ頻々トアルト申シマシテモ、ソレ程一々其度ニ緊急處分ノ手續ヲ奏請スルト云フコトニ必シモナラスト思ヒマス

○櫻井委員 本案ノ内容實施ハ、全ク豫測出來ナイモノノ爲ニ備ヘルノダト云フ今ノ御説明デアリマス、サウスルト全ク豫想出來ナイコトニ對シテ、豫算ヲ概算トシテ取ツテ置ク、斯ウ云フコトデアリマスカ

○青木政府委員 戰時ニナリマスレバ、段々

實行スベキ手段ト云フモノヲ豫定シテ、之ニ對スル準備ヲ豫算ノ上ニモ段々致シテ行カナケレバナライト考ヘテ居リマス

○櫻井委員 戰時ノ場合程變化ノ多イ場合ハナイト思フ、隨テ戰爭ノ初ニ當ツテ、豫想シ得ナイ大キナ豫算ヲ伴フ色々ノ緊急的ナ計畫ガ起ツテ來ルト思ヒマス、隨テ其考カラ致シマスレバ、ドウシテモ樞密院ノ諮詢ヲ奏請スルコトガ度々起ツテ來ルト考ヘマス、私ハ政府ハ此點ニ對シテ現在ノ所、深い御研究ガナカッタモノト考ヘマスガ、是ハマダ審議ノ時日モアルコトデアリマスカラ、モウ少シ御研究ヲ願ヒタイ、此案ノ根柢ガ崩レルノデス、樞密院ニ掛ケテ居ル暇ガナイ、議會ニ掛ケテ居ル暇ガナイカラ是デ行クノダト云フ、此根柢ガ崩レルノデス、此根柢ノ崩レナイヤウナ、私共ノ納得ノ出來ルヤウナ御説明ヲ他日ニ願ヒタイ、今日直チニ此點ノ御答辯ヲ求メハ致シマセヌ——商工大臣ガ御見エニナリマセヌガ、直グ御出席ヲ願ヒタイト思ヒマス

商工大臣ガ御見エニナル迄瀧企畫院總裁ニ御尋致シマス、本法ハ最初其要綱ヲ發表セラレタ時ニハ、政府ハ今回ノ事變ニ適用シナイト云フ御考デアッタト思フ、同時ニ又軍需工業動員法ハ、其儘ニシテ

置カレルト云フ御考デアッタト考ヘテ居ル、ソレヲ此度此事變ニモ適用スル、軍需工業動員法ハ、此法案ガ出來ルト同時ニ廢止スル、ソレニ附隨スル昭和十二年法律第八十八號ヲ廢止スルト云フコトデ、變ツテ來タ、是ハドウ云フ御考デアリマスガ、私ハ斯ノ如キ國家ノ重大ナル案ハ、モウ色々ノ技巧ナシニ、本當ノ肚ヲ打明ケテ、政府モ議會モ進ミタイト思フノデアリマスガ、ドウ云フコトデアサウ云フ風ニ御變ヘニナツタデアリマスガ、或ハ此日支事變ニ適用シナイトナレバ、ソレデハ缺陷ノアル案デアラカラ、ユックリ研究ショウデハナイカ、次ノ議會デモ間ニ合フデハナイカト云フ議論ガ出テ來ルト思フ、マサカソレヲ防グ爲ノ御考デアアリマスマイト思ヒマスガ、兎ニ角政府ノ考ヘ方ニ變化ノアッタコトハ事實デアリマスカラ、一ツ率直ニ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○瀧政府委員 軍需工業動員法ハ、其儘使フト云フ風ニ御耳ニ入ッタト云フコトデアリマスガ、サウ云フコトハ實ハ初メカラ一度モ説明シタコトデアリマセヌ、初メカラ軍需工業動員法及ビ法律第八十八號ハ、本法施行ト共ニ廢止サレル、實ハ斯フ御説明申上ゲテ居ルノデアリマス、多分御耳ニ入ッタ

間違ノ源ハ、此法律ガ何時カラ使ハレルカト云フコトニ付テハ、非常ニ説明シクイ言葉ヲ使ツテ居リマスルカラ、其爲メダラウト思ヒマス、ソレハ本法ガ議會ノ協賛ヲ經マス、第一ニ其公布ト云フ事實ガ起リマス、併シ實際ニ施行サレルノハ勅令ヲ以テ期日ガ決リマス、故ニ公布ノ日ト施行ノ日トガ、期日ガ相違シテ參リマス、而モ施行サレタ本法ガ直チニ働クカト申シマスルト、眠ツタ状態ニ居リマス、即チ戰時又ハ事變ノ時期ニ入ツテ、初メテ個々ノ條文ガ發動スルニ至リマス、故ニ公布ト、施行ト、發動トノ三段階ガ生ジテ來マス、ソコデ此事變ニ適用スルカ、適用シナイカト云フ御質問ニ對シマシテハ、軍需工業動員法ノ中デ現ニ發動シテ居ル部分、即チ本法デ申シマスルト第十三條デアッタト記憶シマスガ、工場管理令ノ如キモノハ、軍需工業動員法ニ代ツテ、直チニ發動シテ來マスカラ、此國家總動員法ノ一部分モ直チニ發動スル、斯ウ言ハナケレバナリマセヌ、併シ軍需工業動員法及ビ臨時立法ヲ一括シテ、現在行ハレテ居ル法律以外ニ、新シク國家總動員法ガ發動スルカト云フ御質問ニナリマス、此中ノ第十三條モ軍需工業動員法ノ中ニ吸收サレマシテ、換言スレバ差當リハ現狀ノ儘

デ宜シト思ッテ居リマス、別ニ國家總動員法ノ條文ガ、新シク發動スルヤウニハ考ヘテ居リマセスガ、時局ガ變化ヲ致シマストカ、何カ變々事變ガ起リマスト、直チニ又發動スル、斯シ云フ意味ニ申シテ來タ次第デゴザイマス

○櫻井委員 今ノ御説明ハ大分専門的デ、私ニハ一寸理解出來マセヌ、私ハハッキリト今此動員法ガ出來テモ直グハ使ハナイノダ、現在ハ工業動員法ガアルカラ、アレデ足リルノダト云フコトヲ聽イタヤウニ思ヒマス、ソレガ全クノ私話デアッタトハ考ヘマセヌケレドモ、今其聽イタコトノ内容ヲ申上ゲルコトハ避ケタイト考ヘマスカラ、此點ハ是ダケニ致シテ置キマス

次ニ是ハ國務大臣ノドナタカラカ願ヒタイト思ヒマスガ、此非常廣汎ナル權力ヲ持ツ所ノ法案ヲ、實施運用スル主體ハ何デアルカ、此事ヲ一ツ詳細ニ御説明ガ願ヒタイ、立法的ニハ總テ委任狀式ナモノヲ御採リニナッテ、行政權ガ非常ニ絶大ナル所ノ權限ヲ持タレル、其使ヒ方如何ニ依ッテハ、ドウニデモナルヤウナ實ニ大キイ權限ヲ持タレルノデスガ、此強大ナル權限ヲ持ッテ居ルモノヲ施行運用スル所ノ機關ハ何デアルカ、特別ニ大キナ機關ヲ設ケ

ラレルナラバ其機關ニ付テ、又其中央機關ヲ作ラル、ニシテモ、之ヲ實施スルニ當ッテハ各省、各地方廳モ即チ全政府機關ニ互ッテ、是ガ實施運用ノ任ニ當ル關係ノモノト思ヒマスガ、其場合ニ對シテ考ヘマスト、今ノ官吏ノ素質、今ノ行政機構デ是デ宜イ

ノデアアルカドウカ、私ハ少クトモ此案ヲ出サレル以上ハ、其法ヲ運用スル機關ガ、之ニ伴ッテハッキリト大體之ヲ明示シテ來ラレルト云フノガ當然デアラウト思フ、中央機關ハ斯ウ云フ風ニ設ケルノダトカ、ソレカラ行政機構ハ斯ウ云フ風ニ改革スルノダ、之ヲ扱フ任務ハ洵ニ重大デアリマス、サナキダニ文官任用令ノ改正、若クハ撤廢論モ聞カレ、又政府モ左様ナ方針ヲ執ッテ居ラレルヤウニモ聞クノデアリマスガ、其任用令ヲドウスルカト云フコトヲ具體的ニ掲ゲテ、ソレ等ノ案ヲ添ヘテ此案ヲ議會ニ提出シテ、議會ノ同意ヲ求メルト云フコトデナケレバ是ハ大ナル片手落ダト思フガ、其點ノ御用意ハ如何ニナッテ居ルノデアリマスカ

○瀧政府委員 一タビ戰時ニ入リマシテ、此儘ノ行政機構デ宜シイカト仰シヤイマスト、相當變ヘナケレバナラス點ガアルダラウト思ヒマス、併シ只今ノ事變ニ於テ、此儘デドウカト云フ御質問ニナリマスト、只

今ノ儘ナラバ各省ガ分擔シテヤッテ行ケルト考ヘテ居リマス、ソコデ如何ナル行政機構ノ變化ヲ考ヘ、ドコヲドウ變ヘルカ、斯ウ云フ點ニ付キマシテハ、色々考ヘテ居ル點ハアリマスケレドモ、マダ具體的ニ申上ゲルマデニ至ッテ居リマセヌ、官吏ノ素質ハ是デ宜イカ、斯ウ云フ御質問ニ對シテハ、不完全ナ所ガ多クアルト思ヒマス

○櫻井委員 問題ノ重大ナル意味ニ對シテノ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス、全ク事務的ノ御答辯デハ私ハ理解出來マセヌ、アナタモ長イ間ノ議會人、議員ガドンナ氣持デモノヲ聽イテ居ルカト云フコトハ能ク御分

リノ筈デアリマス、今ハ企畫院總裁デスガ、ドウ云フコトデ國務大臣ニナルカ分ラヌ、一ツ國務大臣ニナツタ積リデ御答辯願ヒタイ、コンナ大キナ案ヲ出シテ來ルノニ、大ナル片手落デハアリマセヌカト聽イテ居ル、此案ヲ實施スル爲ノ中央機關、行政機構ノ改革、文官任用令ノ改正、是ダケハドウシテモ伴ッテ出テ來ナケレバ體ヲ成サナイ、戰時ニナツタラ——一方デハ戰時ハ明日ニモドウ變化スルカ分ラヌト云フコトヲ説明シテ居ラレル、ソシテノンビリシタ、戰時ハ何年後カ分ラヌト言ツタヤウナ、ソシテ意味ノ御答辯デ、ソレデ諒解出來マセウカ、他

ノ國務大臣カラデモ宜シノデアリマスガ、若シアナタガ御答辯ニナルナラ、國務大臣ニナツタ氣持デ事務的デナイ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○鹽野國務大臣 本法ノ内容ハ種々ナル方面ニ擴ガッテ居リマスルカラ、各省ニズット行互ッテ居リマスノデ、此各省ヲ連絡統制シテ參リマスノハ、總理大臣ノ手ニ於テ之ヲ行フノデアリマス、事務ヲ執行致シマスノハ、各省ノ官制ニ隨ヒマシテソレノ執行シテ行ク、斯ウ云フコトニナルノデアリマス(笑聲)

○櫻井委員 他國ノ動員法デハ、總理大臣ヲ中心ニシテ國務大臣其他チヤント一ツノ中央機關ト云フ組織のモノガ作ラレテ居ルヤウナ例ガアリマスガ、私ハ茲ニ具體的ニ聽キマス、サウ云フ特別ナル大キイ機關ヲ御作リニナル考ニナッテ居リマスカドウカ

ソレカラモウ一ツ、是ハ時期ヲ指摘シテ聞キマス、直グ行政機構ノ改革ヲ此議會ニ御示ニナル考デアアルカドウカ、ソレカラ文官任用令ノ改正ハ何時オヤリニナルノデアアルカ、其時期ヲ御示ヲ願ヒタイ

○瀧政府委員 御質問ノ點ハ只今研究中デ今色々考ヘテ居ル最中デアリマス、(笑聲)

○作田委員 一寸關聯シテ質問シタイと思ヒマスガ……

○小川委員長 宜シウゴザイマス

○作田委員 ソンナコトデハ審議出來ナイ、今櫻井君カラ御尋ニナツタコトニ付テ御尋スルノデアリマスガ、企畫院總裁ノ御答辯モ、司法大臣ノ御答辯モ問ニ對スル答デハナイノデス、私ガ聽イテ理解シテ居ル所デハ、此國家總動員法ト云フモノヲ施行スル段取ニナツタ折ニ、如何ナル行政組織ニ依ッテ施行スルノカト云フコトナノデアアル、現在ノ行政機構其儘デ行ハレナイト云フコトハ、是ハ火ヲ賭ルヨリモ明ナ事實ナノデアアル、問題ハコ、ナノデス、此法案ハ繰返シテ吾々ガ申上ゲル通り白紙委任狀デス、一切ノ國民ノ權利義務ト云フモノヲ、白紙委任狀ニ依ッテ政府ガ取ルノデアルト云フコトハ如何ナル強辯ヲナサレテモ、事實ハソレニ相違ナイノデアリマス、其御取リニナツタ權限ヲ誰ガ執ルノカト云フコトヲ聽イテ居ル、如何ナル組織ニ依ッテ御取リニナツテ、サウシテソレヲ御執リニナルノカト云フコトヲ聽イテ居ル、殊ニ私ハ陸軍大臣、海軍大臣ニ御尋シタイノデアリマスガ、此國家總動員法ハ言フマデモナク第一條ニ明記セル通り國防目的達成ノ爲ニオヤリニナルノ

デアリマス、隨テ此行政組織ト云フモノニ付キマシテハ、官吏ノ任用ト云フコト、軍紀ト云フモノト重大ナル關係ガアル、隨テ今ノ司法大臣ノ御答ノヤウニ一切ノ國務ト云フモノハ、内閣總理大臣ヲ中心トシテ分布サレテ居ルト云フコトハ、是ハ間違ヒナイノデアリマスケレドモ、斯ウ云フ廣汎ナル權限ヲ取ッテ——今ノ内閣總理大臣ガ現在ノ各省ヲ統轄スルト云フコトニ付テモ、既ニ困難ヲ生ジテ居ル、支那ニ對スル日本ノ方針ヲ包括シテ、戰果ヲ收拾スルト云フコトニ付テモ、既ニ今日ノ内閣ノ組織ニ於テハ實現不可能ナノデアアル、是ガ即チ何等カノ機關ヲ御設ケニナルト云フコトノ原因デアルト、吾々ハ理解シテ居ル、斯ウ云フ風ニ現在ノ組織ヲ以テシテハ、支那問題ノ解決モ付カスカラ、新ナル行政機構ヲ茲ニ設定シナケレバナラスト云フコトハ、既定ノ事實ニナツテ居ルノデアリマス、殊ニ國家總動員ト云フヤウナ、斯ウ云フ廣汎ナル行政機構ヲヤルニハ、今日ノ組織デ出來スコトハ、是ハ最早議論ハナイ、議論ガナイト云フコトニナルト、此廣汎ナル權限ヲドウ云フ風ナ組織ノ下ニ議會カラ取ッテシマッテ運用スルカト云フコトヲ、此總動員法案ノ起草ト同時ニオヤリニナラネバナラストデ

アルト私ハ考ヘルノデアリマス、同時ニ是ハ陸海軍大臣トシテ、此總動員法ヲ施行スルニ當ッテ、軍機ト組織ト云フモノニドウ云フ關係ガアルカ、ドウ云フ風ニスレバ圓滿ニ此法案ヲ施行シテ行ケルカト云フコトニ付テハ、相當ナル御研究ガアル筈ダト考ヘルノデアリマス、此際サウ云フ意味ニ於テ改メテ御答辯ヲ煩ハシタイノデアリマス

○杉山國務大臣 國家總動員ガ極メテ廣大ナル範圍ヲ持ッテ居リマスル關係上、愈、此法ガ發動致シマスヤウニナリマシタ際ニ於キマシテハ、只今ノ如キ機構ヲ以テハ到底實行スルコトハ困難デアルト考ヘテ居リマス、即チドウ云フ名前ニナリマスルカ、軍需省ト申シマスルカ、或ハ斯ウ云フヤウナ有力ナ機關ヲ設ケマシテ、此法ノ十分ニ效果ヲ擧ゲマスルヤウニ致サナケレバナラストモノデハナイカト考ヘテ居ルノデアリマス、併ナガラ現在ノ狀態ニ於キマシテハ大體原料、材料等ノ配給ヲ適當ニ致シマスル爲ニ今商工省ニ於テ研究ヲ致シテ居リマスル、ドウ云フ名前ニナルカ分リマセヌガ、是等ノ仕事ヲ致シマスルヤウナ所作ルコトニ依ッテ、大體目的ヲ達成シ得ルノデハナイカト思ッテ居リマス、尙ホ此前ニ御尋ニナリマシタ問題デアリマスルガ、他ノ大臣カラ御

答致シマシタケレドモ、事ハ各省ニ關聯シテ居ルコトガ極メテ多イノデアリマス、隨テ之ヲ調整統一ヲ致シマスルノハ、是ハ内閣總理大臣ガ之ニ當ル、事務的ノ事柄ハ企畫院ガ之ニ當ルベキモノデアルト思ッテ居ルノデアリマスカラ、之ヲ施行致シマスル實體ハ、關係各省ニ於テ行ッテ宜イト思ヒマス

○櫻井委員 今陸軍大臣ノ御説明ニ依リマス、尙更ノコト中央機關ガドウナルカ、其他ノ各省ニ分布スルモノデモ、其連絡統一ハドウスルカト云フコトハ、此案ノ決定スル迄ニドウシテモ是ハ一ツ別ニ御定メニナラストイカス、モウソソナニ大キナ戰時ノ場合デナクテモ、今度ノ事變ノ場合デモ連絡ノ缺ケテ居ルコト、陣容ノ整ッテ居ルナイコトニ非常ニ國民ガ困ッテ居ル、此頃ハ大藏省ニ參ッテ爲替ノ許可ヲ願フノニ、大阪邊リノ人ガ來テ一週間滞在ヲシナケレバ役人ニ會ヘナイト、斯ウ云フコトガアル、是ハ私何モ會フ役人ガ惡イノダト思ハナイ、人手ガ足ラナイ、斯ウ云フコトデアアル、所謂此陣容ニ付テ考ヲ怠ッテ居ル、臨時非常立法ヲ立ツタ時ニ、ソレ等ノ陣容ヲ考ヘナケレバナラストヲ怠ッテ居タカラ、今サウ云フ部面ガ出來タ、大藏省ダケデサウ

デアリマスガ、緒テ大藏省或ハ日本銀行ニ對シテ或ル程度ニ進ミマス、今度ソレハ商工省ニ關係ガアルカラ商工省ヘ行ク、商工省ヘ行ッテ又相當ノ日時ガ掛ル、今度又或ハ日本銀行ヘ行ッテ最後ノ纏メヲ付ケナケレバナライ、此日本銀行ヘ行キマスと洵ニ日本銀行ノ方ハ親切ニ扱ハレルヤウデ結構デアリマスガ、例ヘバ豫メ先ヅ最初カラ公式ニ受附ヲシナイ、能ク情ヲ聴キ、内容ヲ聴キ、サウシテ便宜ニ計ラハウト云フヤウナ御考ハ、洵ニ結構デアルトハ思ヒマサルケレドモ、ドウモ彼處ハ世間のニ別個ノ存在デ來タ場所デアリマスカラ、餘程世俗ニ疎イ點ガアル、却テ其點ハ從來役人々々ト言ッテ非難シタ商工省ヤ大藏省ノ方ガ、マダ宜イト云フヤウナコトヲ漏ラス者モアル、此非常立法ヲ行フコトニ付テモ、現在ノ程度ノ場合ニ於テスラ、國民ハ非常ニ困リ抜イテ居リマス、斯ノ如キ法案ハモウイツ何時カラ必要デアルカ分ラヌノデアアル、中央機關ヲ設ケルニ付テモ、行政機構ノ改革ヲシテ陣容ヲ豫メ考ヘテ置クニシマシテモ、官吏ノ素質ヲ變ヘルコトヲ考ヘルニシマシテモ、是ハ一朝一夕デ出來ルコトデナイ、早ク準備ガナケレバナラス、陸軍大臣ナドハ其觀點カラ致シマスレバ、最モ切實

ニソレヲ要求サレナケレバナラス御立場ニアルト思ヒマスルガ、如何デアリマセウカ、モウ一度其點ヲ御聴キシタイ

○杉山國務大臣 只今大藏省並ニ商工省ニ關スル御話ガアリマシタ、是等ノ點ニ付キマシテハ、軍費ヲ要求致シマスル軍ト致シマシテハ、屢、耳ニシタコトデアリマス、是等ノ當局ト之ヲ敏活ニ實施致シマスルコトニ付テ、督促ヲ致シテ居ルノデアリマスカラ、斯ウ云フヤウナ關係カラ、只今申シマシタヤウナ商工省ニ於テ配給致シ得ル所ノ機關ヲ作リマシテ、而モ爲替管理ト貿易統制、是等ヲ適當ニ調整致シマスルコトニ依リマシテ、目下ノ需要ニ應ジ得ル如ク致シタイト云フ考ノ下デ、商工省ニ於テ外局ヲ作リマスルヤウニ、今案ヲ進メテ居ルノデアリマス、是ハ商工省ニ立入ツタ話ヲ申上ゲルヤウデアリマスガ、私ノ知ッテ居リマスル範圍デハ、サウ云フ程度デアリマシテ、出來ルダケ運行シテ居ルノデアリマス、併ナガラ事態ガ益々重大ニナリマシタ際ニ、現在ノ狀態ヲ以テ満足トスルコトガ出來ヌト云フコトハ、既ニ申上ゲタ通りデアリマス

○作田委員 ドウモハッキリ理解ガ出來ヌノデアリマスガ、午前中ノ何故ニ本立法ヲ必要トスルカト云フ憲法論ト、只今ノ包括

委員ヲ何人ニ如何ナル形式ニヤルカト云フコトガ、蓋シ本案質疑ノ中心ヲ爲ス問題デアラウト、私ハ考ヘテ居ル、是ガハッキリズレバ他ノ問題ハ比較的容易ニ解決スルノデアリマス、隨テ此案ヲ起草ナサル折ニ、如何ナル方法ニ依ッテ之ヲ運用スルカト云フコトハ、是ハ車ノ兩輪ノ如ク伴ハナケレバ、是ハ起草出來ナイト私ハ考ヘル、然ルニ今陸軍大臣ノ御説明デハ、商工省ニ外局ヲ設ケテ準備ヲスル、愈ト云フコトニナレバ國防軍需省ト云フモノヲ設ケナケレバナラヌト云フ程度ノ如キコトニ依ッテ、之ヲ御持ヘニナルコトハ、唯外國ニ斯ウ云フ立法ガアルカラ、此機會ニ於テ、斯ウ云フ戰時非常時局下ニ於テ、斯ウ云フ非常立法ヲスルコトガ便宜デアアル、之ヲヤッテ置キサヘスレバ何カノ役ニ立タウト云フ一ツノ妙ナ考カラ、必要ニ迫ラレナイニ拘ラズ、本案立法ニ著手サレタノデハナイカ、御提案ニナッタノデハナイカト云フ疑ガ益々深クナル、之ヲ吾々ハ非常ニ遺憾ニ思フ、デアリマスルカラ具體案ヲドウ云フ方法ニ依ッテ實行スルコト云フ將來ノ——此五十箇條ノ立法其儘ヲドウシテ行フト云フコトノ、大雜把ナコトデ宜イノデアリマス、大雜把ナル大體ニ於テノ御考ヲ伺ヒタイ、同時

ニ從事スル人ノ問題デアリマスガ、制度、組織ト云フモノハ同時ニ人ヲ伴ハナケレバ價值ガナイ、是ハ私ガ申ス迄モナイノデアリマス、隨テ今日ノ行政組織下ニ於テハ、今日ノ文官任用令、若クハ其他ノ關係法規ニ依ル役人デハ、迎モムツカシイ經濟界ノ出來事ヲ處理シテ行クコトノ出來ヌト云フコトハ、是ハ輿論ニナッテ居ルノデアリマス、況ンヤ斯ウ云フ重大ナル法案ヲ抱ヘ込ム政府ノ行政官ハ、餘程今日ヨリ異ツタル教育其他ノ素養ヲ持ッテ居ラナケレバナラヌト思フノデアリマス、之ニ關聯シテ此組織、此人及ビ此法律ト云フモノガ三位一體ニナツテ、初メテ言フ所ノ國防目的達成ノ爲、國ノ全力ヲ最モ有效ニ發揮セシムルコトガ出來ルノデアリマス、私等ハサウ云フ理解ノ下ニ今ノ御尋ヲスルノデアリマス、此法案ノ重大性ト同様ニ今ノ人ノ問題、組織ノ問題ヲ重大ニ御考ニナッテ、慎重ノ御答辯ヲ願ヒタイ

○植原委員 此場合關聯シテ一寸伺ヒマス、只今ノ問題ニ付テ御答辯ガナイヤウデスガ、私ハ櫻井君ガ屢、申サレテ居リマス通り、此法案ハ國民ノ全生活ニ及ブモノダト思ヒマス、戰時ノ際之ヲ行フ場合ニ於テ、政府ノ御説明ノ如クニ統一シテ、物的、人的、一

漏ラス所ナク、國民全體ノ能力ヲ最高能率ヲ以テ發揮セシメルト云フコトデアリマシタナラバ、戰時ノ場合ニハ、此法律ヲ運用スルコトガ、國家ノ殆ド全部ヲ支配スルコトニナルドラウト思ヒマス、隨テ此法律ヲ御作リニナル時ニハ、細密デナクモ、此法律ヲ運用スル場合ニ於テハ、名ハ何ト仰シヤッデモ宜シイ、國防省ト仰シヤラウトモ、軍需省ト仰シヤラウトモ、陸軍大臣ノ仰シヤル通り何ト仰シヤッデモ宜イガ、少クモ此劃期的、革命的、戰時ニ對シ國家有事ノ場合ニ於テ、國民全體ノ生活、生命財産、權利義務モ自由モ、一切政府ノ自由自在ニシヨウト云フ法律案デアアルコトハハッキリ致シテ居リマス、ソレヲ一絲亂レザルヤウニ、何處ニモ無駄ノナイヤウニ統一シテ、國力ノ全部ヲ有效ニ目的ノ爲ニ使フト云フコトガ、此法律ノ念頭ニ置カレル所ノ骨子デアアルト思ヒマス、若シ果シテ然リトスレバ、此法律ヲ行フ時ニハ如何ナル機關ヲ作ッテ——今ノ爲替管理ラドウスルトカ、軍需品ラドウスルトカ云フヤウナ、商工省ト大藏省トノ間ノ摩擦ヤ、行違ヒヤ、不統制ラドウスルカト云フヤウナコトノ問題デハアリマセヌ、此法律ヲ作ル時ニハ、同時ニ之ヲ運用スル所ノ全部ノ機關ガ頭ノ中ニ浮イ

テ來テ、少クモ其外廓ダケハナケレバ行ヘナイノデアリマス、縱シ準備ノ際ニ於テモ、其外廓ヲ以テ其一部ノ準備ニ當ルト云フコトデナケレバナライノデアリマスガ、之ニ對シテハ政府委員ノ御答辯ヲ以テモ、陸軍大臣ノ御答辯ヲ以テモ、私共諒解スルコトハ出來ナイ、最後ニ作田君カラ御話ノアツタコトニ對シテハ、國務大臣、政府委員額ヲ見合セテ御答ガナイヤウナラバ、私ハ念ノ爲ニ伺ヒタイ、之ニ對シテハマダナイノダ、ドウ云フハッキリシタ一切ノ外廓ヲドウ包容シ、國民全體ノ生活ヲ一ツノ目的ノ爲ニ統制シテ動カス機關ハドウ云フモノダト云フコトニ付テハ、マダ研究中ダ、考ヘテ居ラス、考ガ繼ッテ居ラス、斯ウデアレバソレデ宜シイカラ、左様ニ諒解シテ宜シイカト云フ念ヲ押シテ置キタイ

○杉山國務大臣 作田君及ビ植原君ニ御答致シマス、此總動員法案ヲ發動スルニ當リマシテハ、廣大ナル權限ヲ持ッテ居リマスニ申上ゲタ通りデアリマス、唯之ヲ如何ナル形ニ成スベキカト云フコトニ付キマシテハ、十分ニ其内容ヲ申上ゲルダケニナッテ居ラスダケデアリマシテ、研究ハ十分ニシテ居ルノデアリマス、又ソレガナケレバ動カヌト云フコトハ、是ハ明瞭ナコトデアリマシテ、此點ニ付テハ私ノ説明ノ言葉ガ足りナカッタカモ知レマセヌガ、斯ノ如キ廣大ナルモノヲ作ラナケレバナラスト云フコトハドウカ御承知置キテ願ヒタイノデアリマス

○植原委員 モウ一言關聯シテ……、陸軍大臣ノ御答辯ニ依リマスレバ、何カ考ヘテ居ラレルト云フコトデアリマス、是デハドウモ委員會ハ之ヲ取扱フ譯ニハ行カナイ、政府當局者ガ考ヘテ居ルト言ッデモ、此法案ヲ運用スル時ニ現在ノ政府ガ居ルカ居ラナイカモ分ラナイ、唯考ヘテ居ルト云フダケデハ、議會ハ之ヲ取扱フ譯ニハ行カナイ、ソコデ私ハ今トハ申シマセヌ、ソレヲ御考ニナッテ居ルナラバ、ソレデ宜イカラ、ソレヲ形ニ現ハシテ、斯ウ云フ風ニシテ運用スルノダ——細目ハ要リマセヌ、斯ウ云フ企畫ノ下ニ、之ヲ中心トシテ斯ウ行フ積リデアルト云フモノヲ御示ヲ願ヒタイ、ソレト現在ノ此内閣、即チ今日日本ノ國政ヲ變理シテ居ル内閣ト、一體ドウ云フ關係ニナルノダラウカ、其場合ニ其モノハドンナ立場ニナルノカ、ソレヲ合併セテ陸軍大臣ノ御考ニナッテ居ル其計畫ト申スモノヲ、私共ノ諒解ノ出來ルヤウニ、細カナ所ハ要リマセヌ、其輪廓ト其運用サレル作用ガ、略々諒解出

來ルヤウニ、ドウカ至急ニ御作リニナッテ、御示ヲ願ヒタイノデアリマス

○杉山國務大臣 御希望ノヤウニ御説明出來ルヤウニ致シマス

○櫻井委員 此機關竝ニ行政機構ノ改革、ソレカラ文官任用令ノ改正、是等ニ付テハ今瀧總裁カラ折角研究中デアアル、斯ウ云フ御答辯ヲ得マシタガ、研究中デアリマスレバ、出來ルダケ一ツ早く能ク總理大臣トモ御相談ナスッテ戴キタイ、是ハ大切な問題デアリマス、一ツノ重大な意義ヲ有スル問題デアリマス、早く閣議ヲ經テ其成案ヲ此法案ノ審議中ニ御示ニナルコトヲ、切ニ私ハ希望ヲ致シテ置キマス

ソレカラ次ニ私ノ質問ハ、是ヨリ商工大臣、大藏大臣ニ對シテ御尋ラシナケレバナラス順序ニナッテ居ルノデアリマスガ、ドウモオ出デニナラスヤウデハ……

○小川委員長 一寸櫻井君ニ申上ゲマス、商工大臣ニ出席ヲ要求シマシタガ、丁度今本會議デ質問ニ御答ナサレツ、アルト云フコトデアリマス、先刻モウ三人殘ッテ居ルト云フコトデゴザイマシタガ、大分時刻モ經チマシタカラ、臆テオ出デニナルドラウト思ヒマス

○櫻井委員 何レニ致シマシテモ、私ハ大

臣ガオ見エニナラナケレバ、質問ガ出来ナイノデアリマスガ、若シ此儘繼續セラレルナラバ、私ハ商工大臣、大藏大臣ニ對スル質疑ヲ留保スル外ニ致シ方ガアリマセヌ

○河野委員 議事進行ニ付テ此際一言發言ノ御許ヲ戴キタイ、私ハ此機會ニ委員長ヲ

通ジテ政府ニ御願ガアルノデアリマス、問題ハ只今審議致シテ居リマスル法案ノ重要性ニ鑑ミマシテ、同時ニ吾々委員ノ發言ノ内容ガ、今後場合ニ依リマシテハ、相當現下ノ社會情勢ニ鑑ミマシテ、深刻ナル意味合ニ於テ政府ニモ質シ、又吾々ノ意見モ述べナケレバナラヌ場合ガアルト考ヘルノデアリマス、所ガ昨日同僚眞鍋君ノ發言ニ對スル内務大臣ノ御答辯ハ、甚ダ吾々ノ意ニ滿タナイモノガアルノデアリマス、ソレニ想起シマシテ、此機會ニ是非私ノ御願致シタイノハ、過日政民兩黨本部ヲ占據致シマシタ例ノ團體ノ取調、其内容ハドウ相成ツテ居ルカ、之ヲ私ガ伺ヒマス所以ノモノハ、政府ガ此問題ニ對シテ如何ナル態度ヲ示シテ居ルカ、如何ナル方針ヲ以テ之ニ臨ンデ居ルカト云フコトヲ、具體的ニ吾々ガ認識致シタイカラ、其意味ヲ委員長ヲ通ジテ御願スルノデアリマス、政府ハ速ニ此兩黨本部ヲ占據致シマシタ事件、其取調ノ經過並

ニ之ニ對スル態度、同時ニ過日本會議ニ於テ内務大臣ノセラレマシタ答辯ハ、是亦吾々ノ甚ダ遺憾トスル點ガ多イノデアリマス、隨ヒマシテ其當時ノ内務大臣ノ心境、是等ニ付テ詳細ナル御意見並ニ經過ノ御報告ヲ、此委員會ニセラレンコトヲ、委員長ヲ通ジテ要求致ス者デアリマス、ドウカ委員長ハ

然ルベク御取計ヒアランコトヲ御願スルノデアリマス、吾々ハ前ニモ申上ゲマシタ通り、吾々ノ身體、自由等ニ於テ脅威ヲ感ズル場合ナキニシモアラズデアリマス、政黨ノ本部サヘ斯ノ如キ狀態ニ曝サレマスル現下ノ情勢ニ於キマシテハ、又同時ニ此法案ニ對シテ反對的意向ヲ持ツ者ハ現狀維持派ノ走狗ナリト云フヤウナ立看板ヲ立テルコトヲ、默認致スヤウナ内務大臣ノ思想ノ下ニアリマシテハ、十分ナル審議ヲ盡スコトハ困難ニ感ズルヤウナ氣持モ致スノデアリマス、デアリマスノデ、十分此點ニ對シテ現内閣、特ニ内務大臣等ノ思想ニ付テ、吾々ハ確認致シタイト考ヘマスカラ、委員長ニ於テ速ニ此方法ヲ執ラレンコトヲ、御願致スノデアリマス

○小川委員長 政府ノ方ニ其趣旨ヲ通ジマス

○西岡委員 議事進行ニ付テ……私ハ委員長ヲ通ジマシテ、政府ニ御聲明ヲ要求致ス

ノデアリマス、ソレハ近衛總理大臣ノ御病狀如何、何時御出席ガ出来ルカト云フコトデアリマス、私共ハ近衛總理大臣ノ御病氣ニ對シマシテハ、滿腔ノ御同情ヲ申上ゲテ居リ、一日モ早く御全快ヲ希ッテ居ルノデアリマス、時ハ非常ナル重大時局デアリ、議會ニ於キマシテハ、曾テナイ重大ナル法案ガ提出セラレテアル、此法案ガ本會議ニ上程セラレタ時モ、總理大臣ノ御出席ガナカッタ、セメテ此委員會ハ總理大臣ノ御出席ノ下ニ開カレルコトデアルト云フコトヲ、國民モ恐ラク期待シテ居ッタラウト思ヒマス、併ナガラ御病氣デアルト云フ以上ハ

是ハ致シ方ゴザイマセヌガ、然ラバ何故政府當局ハ、政府ヲ代表致シマシテ、總理大臣ノ御病狀ヲ述べラレ、斯クノ理由、斯クノノ狀態デアアル、醫師ノ診斷デアアル、ダカラ出席ガ出来ナイカラト云フコトヲ、一體此處デ御聲明ナサラナイノデアルカ、植原委員ノ委員長ニ對スル要求ニ依ッテ、辛ウジテ委員長カラ二三日間靜養ヲ要スルト云フ御聲明ガアッタ、政府カラハ何等ノ御聲明ガナイ、實ハ今日ハ何等カノ御話ガアルカト期待致シテ居ッタ、ソレデ私共ハ其發言モ控ヘテ居ッタノデアリマス、併ナガラ昨日モナイ、今日モナイ、委員長ハ二十六日ノ夕刻、政府カラ二三日間靜養ヲ要スルト云

フコトヲ御聞キニナツヤウニ私ハ思ッテ居リマス、今日ガ其三日目デアリマス、然ラバ明日御出席ガ出来ルモノデアアルカドウカ、ハッキリ一ツ政府ヲ代表致シテ、御聲明ガ願ヒタイト思ヒマス

○瀧政府委員 私是カラ直チニ總理ノ所ニ參リマシテ、今日繼續シテ委員會ガ開カレ

レバ今日、明日ナラバ明日明白ニ申上ゲマス

○西岡委員 今日此委員會ニ御臨ミニナルノニ、ソレダケノ打合せモ一體ナカッタノデアリマス、私ハ餘リニ不誠意ダト思フ、同時ニ總理ニ對シテ御氣ノ毒デアアル、總理ノ身邊ト申シマス、如何ニモ貧困ヲ感ズル、更ニ、ソレデハ重ネテ御相談ノ上ニ其旨ヲ明ニセラレルト云フコトデゴザイマシタガ、是カラ二三日更ニ靜養ヲ要スルト云フヤウナコトガ、若シアリト致シマシタナラバ、其場合ニハ或ハ總理代理デモ御設ケナサルト云フ御意思ガアラレルカドウカト云フコトモ、ハッキリ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス、是モ委員長ヲ通ジテ要求致シテ置キマス

○小川委員長 ソレデハ商工大臣、大藏大臣ハ今急ニ出席ガ出来ナイヤウデアリマスカラ、今日ハ此程度デ散會致シマス、明日ハ午前十時ヨリ開會致シマス

午後四時五十分散會